世界選手権（53年1月）出場メンバー決まる

日本協会は11月13日東京で臨時代議員会を開き、第9回世界選手権（男子Aグループ・53年1月26日～2月5日、デンマーク）に出場する日本選手団の選考を行ない、役員4、選手14名を決定した。

選手団は12月20～29日、53年1月3日に東京へ集合したあと、1月4日出発、国際スペイン大会に出場、ポルトガル、フインランドを転戦し本大会に望む。

晴れの代表チームは、10月のアジア予選代表に新たにGKの順波正人（22才、筑波大）が加わったにすぎないが、モスクワを目指す新ナショナルチームとし、若返りの構想のもと、台湾、サウジアラビアをともに完勝しての本大会であるが、今回が本当の船出ではなかろうか。

世界選手権での予選D組にて、1月26日・対ポーランド、28日・対スウェーデン、29日・対ブルガリア、と対戦するが、3カ国ともやり易い相手でありつけこむ余地は充分にあり、決勝トーナメントに残り、C組のルーマニア・ハンガリー・東独あたりとベスト4争いをすることになるだろう。今大会でモントリオール9位を上廻る、アジア代表として気力あふれる試合を展開してほしい。

本大会を前に代表団は1月8～12日まで第3回国際スペイン大会に出場する。（参加5カ国、ソ連・ルーマニア・ユーゴスラビア・スペイン・日本）ソ連・ルーマニアは、昨年のモントリオールで金銀に輝いたチームであり、またソ連チームは、決勝トーナメントで対戦することもあり格好の前哨戦となる。

出発と同時に公式試合となるが若手のナショナルとしては、有意義な大会となるだろう。また、スペイン大会後は、スペイン、ポルトガル、フインランドにて、各二～三試合の親善試合を行なって、技術、時差、気候及び対欧州型への馴れ、などを考えながら順調に仕上げて本番へ望むことになる。

今回の世界選手権は、13～16位決定リーグがなく、もし予選リーグで最下位になると即日帰国しなければならないという厳しい状態もある。

世界選手権（Aグループ）
日本代表チーム

・団長	幸田　末之	日本協会理事	
・監督	竹野　奉昭	日本協会強化委員	
・コーチ	東　嘉伸	日本協会強化委員	
・コーチ	※本田　洋	日本協会強化委員	
・GK	福井　秀人	（25湧永薬品 180cm）	④＝0
	柴田　正章	（24本田技研 187）	㉓＝0
	※須波　雅人	（20筑波大 184）	初出場
・FP	中井　武三	（28大同特殊鋼 181）	(60)＝125
	花輪　博	（27大同特殊鋼 180）	㊵＝71
	蒲生　晴明	（23大同特殊鋼 192）	㊷＝114
	柳川　実	（24大同特殊鋼 176）	㉒＝76
	中本　清明	（23大同特殊鋼 184）	⑧＝6
	穂積　豊彦	（25湧永薬品 180）	⑱＝41
	津川　昭	（26湧永薬品 180）	⑤＝17
	佐藤　要二	（28本田技研 181）	㊸＝189
	斉藤　幸司	（23大崎電気 175）	⑩＝30
	池之上孝司	（21日本体育大 185）	③＝12
	※志賀　良弘	（21大阪体育大 188）	③＝7

・右欄○内数字は公式国際試合数
・＝右の数字は公式国際試合通算得点
※印の3名は「滞同強化コーチ及び選手」

佐藤、公式国際試合50に

佐藤要二（本田技研）は、スペイン大会、世界選手権予選リーグへ出場すると1月29日、対ブルガリア戦で公式国際試合が50試合目にあたる。50試合以上は、すでに木野実（湧永薬品）、本田洋（大阪イーグルス）、藤中憲二・中井武三（大同特殊鋼）についで史上5人目である。これに引き続き、蒲生晴明、花輪博（大同特殊鋼）がおり、決勝トーナメント及び順位決定リーグに進出すれば一挙に3名が記録を更新することになる。

正月返上の気構え

この遠征を控え、選手団は12月20日から29日まで、大同特殊鋼体育館で第四次、年が明けて新年の3日に東京へ集合して4日の22時羽田から旅出つことになっているが、選手達は、ベストエイト入りを目指し、正月返上の気構えで、はりきっている。

竹野奉昭監督の話

世界選手権でひとつのカベとなっているベストエイト入りを果たしモスクワへの踏台としたい。その意味では今までになく良い組み合わせであると思う。予選リーグで、まず、2勝を目指したい。選手は若手に切り変わっているが。スタメンの6名はどこでもこなせる能力があるし、新人のディフェンス力にも期待している。対欧州型のチームとして充分に、手ごたえを感じている。

「ハンドボール」52年12月号（第159号）目次

世界選手権代表決まる……(1)
全日本総合展望……(2)
日本協会全国代議員会から……(5)
12月・1月のカレンダー……(5)
日本リーグ……(6)
全日本学生選手権……(12)
プレスルーム……小山敏昭……(17)
フリースロー……(19)
関東学生秋季リーグ……(21)
関西学生秋季リーグ……(23)
東海学生ほか……(25)
関東・関西・東海女子学生……(27)
海外トピックス……(29)
ワング氏来日審判研修会から……(30)
IHF審判講習会 ③……(32)
技術コーナー……(34)
各地の記録……(38)

【表紙写真】全日本学生選手権、最終日、男子決勝（日体大対日本大）から
スポーツイベント社
ハンドボール紙提供

再び湧永・大同激突か

今年の総決算・ナショナルチャンピオンチームを決める，日本協会創立40周年記念・第29回全日本総合選手権大会が，12月7日から11日まで，東京体育館に男子24チーム，女子16チームを集めて開催される。男子では日本リーグの三菱レイヨン大竹が辞退したため，学生界からインカレ5位の筑波大が代わって出場する。また女子も全日本実連代表の出場が1チームにとどまったため，学生からインカレ4位の大阪体育大学と同5位の筑波大が出場権を得ている。男子では2連勝をねらう湧永薬品と王座返り咲きを宿願とする大同特殊鋼の激突が予想される。女子は，日本リーグの混戦がそのまま持ちこまれ予断を許さぬ大混戦となりそうだ。

全日本総合展望・女子は本命なしの混戦

トーナメント方式軌道に

昨年から復活したトーナメント方式だが、日本リーグが軌道に乗って来ている今日、この大会がナックアウトシステムで行なわれていることには大きな意義がある。

諸外国では、「リーグ」と「トーナメント」の二本建てが定着しており、トーナメントの大会はいわゆる〝カップ〟で、人気を集めているのはご承知のとおり。

トーナメント方式でなければ味わえない一本勝負の面白さ、番狂わせの期待などリーグでは味わえないハンドボールの楽しさでファンをひきつけてもらいたいものである。

湧永の二連勝なるか

★男子☆　昨年対大同戦14連敗の汚名を一気に雪いで涙の優勝を飾った湧永薬品だが、今年に入って対大同戦は五分の星でやはり大同戦に焦点を合わせている。穂積・津川（全日本）の二枚看板にベテラン木野も一段と元気で苦しい時にチームをグイグイと引っぱっていくリードマンぶりは天下一品。松本、山本、戸田弟、GK福井ら若手もハツラツとしたプレーを見せてくれるにちがいない。

組合わせから見て準決勝までにつまづくことはまず考えられないが、大崎×コンドルスの勝者には要注意。準決勝の相手は本田技研だ。日本リーグでも尻あがりに調子をあげてきているだけにあなどれない。

雪辱期す大同特殊鋼

昨年4年連続全国タイトル独占の大偉業をあと一歩のところで阻まれた大同は、意地でも負けられないところ、新人蒲生を加えて、若手主体のチームに生まれかわり藤中、中井、松原らはアシストに徹っするといった変身ぶりが板についてきて今年後半より一気に力を倍加した感じが強く、湧永との決勝は激戦必死の情勢だ。

三景は、佐々木、村田のコンビプレーの上に若手の走りを加えてひとあばれしそうだ。ディフェンスの出来しだいでは、大同も苦戦を強いられよう。

闘志期待の学生勢

全日本総合の話題といえば、企業チームと学生の激突である。

レベルダウンをとりざたされる学生界だが、五年ぶりの王座返り咲きを果たした日体大が上昇気運の余勢をかって上位進出することも考えられ、また独特のパス回しで売る日大も、個性を発揮しだすと勢いに乗れるため、二回戦に進出すれば大阪イーグルスとの試合は好試合となろう。いづれにしても昨年ベストフォーを、逃がした学生勢、奮気を期待したい。

大混戦は必至か！

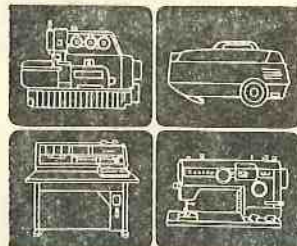
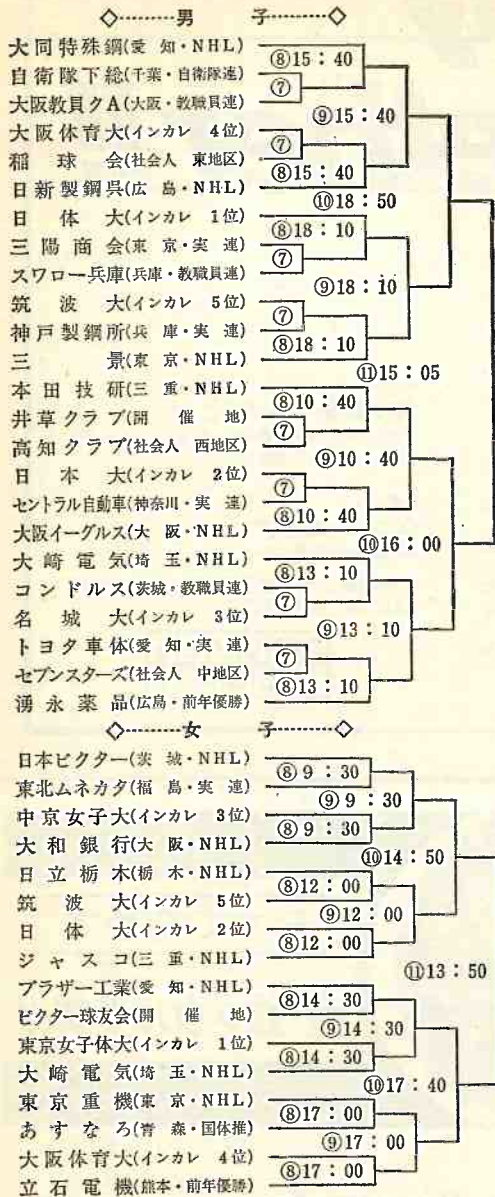
★女子☆　やはり優勝争いは、昨年どおり日本リーグ勢だろう。

しかし、今年の日本リーグは後期になって首位が目まぐるしく入れ変わる大荒れで、そのまま混戦もようが持ちこまれることは必死だ。前年度優勝の立石電機もすんなりと連勝することはむづかしかろう。立石は、島田、蔵田のぬけた穴を池渕や新星姫野五十鈴（大分東高出）らの若手で埋め、ベテランGK和田や山下とのからみあいに優勝をかけることになる。トーナメントの一本勝負だけに井監督の巧みな采配は見ものだ。

一時期、日本リーグの首位をひた走っていたブラザー工業は、ビクターに敗れてから調子を落としブラザー×ビクター球友会、東女体大×大崎電気の激戦区におり、一回戦から気がぬけない。

日本ビクターは額賀、蓮見が欠けたもののコーチ兼任の池田がふんばりを見せ、若手も進境著しく準決勝まではすんなり行きそうだが、その相手は、日立×ジャスコの勝者だろう。

勢いづくか新風日立

GK久保、松下のベテランに若手の動きがからんで、チームにまとまりが出てきたジャスコは、一回戦で日体大、次に日立栃木と対

戦、特に日立戦は予断を許さないであろう。河田の動きがポイントとなるか。

日立栃木は日本リーグ後期に入って一気に開花、若さをバクハツさせ、リーグの面白味を倍化させた。晴山や島田が大成長を見せており、若さにまかせて一気に突っ走る可能性は充分にある。山井のリードが全てを決するであろう。

優勝争いは、リーグ四強に、もうひとつ、ズバリ日立をあげておきたい。

ズラリ一発屋

開催地代表は、ビクター球友会だ。かつて日本ビクターに在籍、全日本などで活躍した選手をそろえている。しかも、額賀や蓮見はまだまだ現役から退いて数カ月、プレーは以前のままだ。今大会のダークホース的存在だ。

また日本リーグ返り咲きをねらう東北ムネカタも昨年のくやしい入替戦をカテに小手調べのチャンスと腕をぶしている。

学生も上昇機運

上昇機運にあるといわれる学生界からは東女体大・日体大のほか5チームが出場するが、走りと二次速攻のうまい東女体大はこの大会で初の一勝をあげる機はある。

日体大は全日本で学生から唯ひとり、踏んばっている藤井の活躍がカギとなろう。

社会人中は7スターズ

社会人中地区代表はセブンスターズ（昨年まで本田爽風会）に決まった。

第八回東海クラブ選手権大会は十月三十日・十一月十三日の両日に四日市体育館において開催され、男子はセブンスターズと蒲郡クラブの、決勝となり、セブンスターズは新見・金子・長谷川らの活躍で大勝し、全日本総合への出場権を獲得した。

なお、社会人東地区は稲球会西地区は高知クラブに決した。

セブンスターズ 17（10−2 7−4）6 蒲郡クラブ

開催地は井草クとビクター球会会が

東京都協会理事会は、東京都選手権のベストフォーが出そろった段階の十一月十八日に選考を行ない男子で井草クラブ、女子でビクター球友会を推すことに決めた。東京都選手権での両チームの主な成績は次のとおり

井草ク 20（9−7 11−6）13 セントポール

井草ク 9（1−4 8−4）8 サンクラブ

ビクター球友会 11（6−1 5−3）4 東京重機

ビクター球友会 11（5−3 6−5）8 日体大

全日本総合選手権 組み合せ

◇………男　子………◇

チーム	試合
大同特殊鋼（愛知・NHL）	⑧15：40
自衛隊下総（千葉・自衛隊連）	⑦
大阪教員クA（大阪・教職員連）	
大阪体育大（インカレ 4位）	⑦
稲球会（社会人 東地区）	⑧15：40
日新製鋼呉（広島・NHL）	
日体大（インカレ 1位）	⑧18：10
三陽商会（東京・実連）	⑦
スワロー兵庫（兵庫・教職員連）	
筑波大（インカレ 5位）	⑦
神戸製鋼所（兵庫・実連）	⑧18：10
三景（東京・NHL）	
本田技研（三重・NHL）	⑧10：40
井草クラブ（開催地）	⑦
高知クラブ（社会人 西地区）	
日本大（インカレ 2位）	⑦
セントラル自動車（神奈川・実連）	⑧10：40
大阪イーグルス（大阪・NHL）	
大崎電気（埼玉・NHL）	⑧13：10
コンドルス（茨城・教職員連）	⑦
名城大（インカレ 3位）	
トヨタ車体（愛知・実連）	⑦
セブンスターズ（社会人 中地区）	⑧13：10
湧永薬品（広島・前年優勝）	

準々決勝：⑨15：40　⑨18：10　⑨10：40　⑨13：10
準決勝：⑩18：50　⑩16：00
決勝：⑪15：05

◇………女　子………◇

チーム	試合
日本ビクター（茨城・NHL）	⑧9：30
東北ムネカタ（福島・実連）	
中京女子大（インカレ 3位）	⑧9：30
大和銀行（大阪・NHL）	
日立栃木（栃木・NHL）	⑧12：00
筑波大（インカレ 5位）	
日体大（インカレ 2位）	⑧12：00
ジャスコ（三重・NHL）	
ブラザー工業（愛知・NHL）	⑧14：30
ビクター球友会（開催地）	
東京女子体大（インカレ 1位）	⑧14：30
大崎電気（埼玉・NHL）	
東京重機（東京・NHL）	⑧17：00
あすなろ（青森・国体推）	
大阪体育大（インカレ 4位）	⑧17：00
立石電機（熊本・前年優勝）	

準々決勝：⑨9：30　⑨12：00　⑨14：30　⑨17：00
準決勝：⑩14：50　⑩17：40
決勝：⑪13：50

●○内数字は日付、そのあとの数字は試合時間（7日は14：00から19：10まで）
●TV中継は15：00〜16：20（男子決勝）NHK教育で

全国代議員会から

11月13日（日）午前10時より、岸記念体育館内会議室において、徳永陸繁副委員長出席のもとに各県代表および各連盟選出代議員により、52年度臨時全国代議員会（全国理事会）が開催された。40周年記念行事を焦点に協議された。ここにその一部を掲載致します。

40周年記念行事を決定

まず53年度の予算について話合われたあと、40周年記念行事について話合われ、40周年にあたって功労者表彰を行なうことを決め、次の各項のいずれかに該当するとして地方協会、加盟団体から推薦された方（30周年表彰者を除く）の中から40周年記念行事委が決定し、表彰する。

(イ)日本協会・各団体の役員を通算して25年以上つとめ、組織の整備やハンドボールの普及に多大な功績のあった方。

(ロ)日本協会や各団体の創立以来役員として多大の功績があり、すでに他界された方。

また、報道関係や、用具の業者や永年の機関誌の印刷にあたってきた業者にも感謝状がおくられる

その他、今回の全日本総合を記念行事とすることや記念パーティについても話し合われた。

JHA・R・Cについて

先に行なわれたJHAレフェリーコースについて審判委員会あてに質問があった。

Q――無資格の者にB級審判員の資格を与えることは代議委員会では承認されているのか。もしそうであれば、既にD、C級を取得したものは損をすることになるのではないだろうか。

A――安藤審判委員長・現状として審判員は老齢化しているが、これは若い人達の上級資格取得者が非常に少ないためであり、また各都道府県協会に依頼しても年功序列があったりして、若返りができない状態にある。そこで審判委員会としてはその解決手段として、若返り方策を充分に検討した結果20才～25才（本年は特に35才まで）を対象として先の長期にわたる審判講習会（J・H・Aレフェリーコース）を実施し、筆記および実技試験を行なった結果、受講者で優秀な成績を修めた者をB級資格者とした。これは、ただ単にB級の資格を与えることを目的としたものではなく、実際にこれから先若い人達を早く国際舞台に立たせてあげたいためのものである。

12月・1月のカレンダー

★12月☆

1日(木)愛知リーグはじまる

4日(月)愛知・岐阜ママさん対抗試合（10時・ブラザー）

7日(水)全日本総合第1日。男子・8試合・東京体育館（14時・井草クラブ×高知クラブ 日大×セントラル自動車15時20分・コンドルス×名城大、トヨタ車体×セブンスターズ16時40分・自衛隊下総×大阪教員クA、大体大×稲球会、18時・三陽商会×スワロー兵庫、筑波大×神戸製鋼）

8日(木)全日本総合第2日・男子2回戦8試合、女子一回戦8試合（3ページ参照）

9日(金)同・男女準々決勝

10日(土)同・男女準決勝・日本リーグ男子2部大会（午前・東京体育館）

11日(日)全日本総合最終日・男女決勝、日本リーグ2部大会（同）

17日(土)日本リーグ入替戦（東京重機体育館）全国女子クラブ選手権・第一日・岐阜

18日(日)日本リーグ入替戦最終日(同)全国女子クラブ選手権決勝

20日(火)愛知県学生選手権最終日

21日(水)男子ナショナルチーム第4次合宿（大同特殊鋼体育館）29日まで

★1月☆

3日(火)男子ナショナルチーム東京集合・大崎電気(五反田)で最終調整

4日(水)男子ナショナルチームヨーロッパへ出発（22時・羽田）

7日(土)スペインカップ開会式（マドリード）

8日(日)スペインカップ開幕、参加チーム（日本・ソ連・ルーマニア・ユーゴスラビア・スペイン）12日まで

11日(水)・12日(木)高校選抜九州ブロック予選（熊本）同・四国ブロック予選（香川）

15日(日)高校選抜北信越ブロック予選（金沢美工大体育館）

20日(金)同・東北ブロック予選（秋田）

22日(日)同・東北ブロック最終日、南関東代表決定戦（代表は北関東代表と対戦する）

26日(木)第9回男子世界選手権予選リーグ、日本×ポーランド（デンマーク・ブロンドバイ）

28日(土)同・日本×スウェーデン（デンマーク・ケーグ）高校選抜中国ブロック予選（岡山県体育館）

29日(日)世界選手権予選リーグ日本×ブルガリア（デンマーク・チェストベッド）高校選抜中国ブロック予選（同）

男子・湧永薬品、勝ち点24でトップ
女子・まだまだわからぬトップ争い

後期リーグも第7週目に入り、男子は着々と勝ち点を伸ばしている湧永がトップ街道を走り、それに追いすがる大同が予想通りに一差で湧永をマークしている。また三景、本田、イーグルス、大崎の3位争いが大いに期待される。

一方女子は、前期予想に反し、ダークホース日立が、立石、ビクター、ジャスコを破り、現在までブラザー、ビクターが勝ち点18で同率首位、ジャスコ、立石が17で優勝戦線に迫っている。

男子第2週 第一日

▽高岡

大銅特殊鋼（愛知）35（16―6、19―8）14 三菱レイヨン大竹（広島）

（審・若山、村井）

【大同】		S	得
柳川清	GK	0	0
	GK	0	0
藤中	FP	7	2
中井	FP	5	1
松原	FP	4	3
花輪	FP	11	8
柳川実	FP	9	7
大原	FP	3	2
中本	FP	1	1
蒲生	FP	17	11
浦田	FP	0	0
		57	35

【三菱】		S	得
藤本	GK	0	0
中嶋	GK	0	0
善本	FP	5	1
岩本	FP	12	7
岡村	FP	4	0
大村	FP	6	1
大江	FP	11	5
末弘	FP	1	0
田中	FP	0	0
沖重	FP	0	0
		39	14

（PT）【大】蒲生4（4）【三】なし

○……大同は蒲生を中心に、花輪柳川（弟）らで着々と得点を重ね一方的なゲーム展開となった。三菱も大江を軸に岩本らがよく健闘したが、終始自己のペースをつかめずにゲームを終えてしまった。

▽宮崎

湧永薬品（広島）26（13―7、13―4）11 日新製鋼（広島）

（審・日野、近藤）

【湧永】		S	得
今井	GK	0	0
福井	GK	1	1
津川	FP	9	3
木野	FP	4	3
穂積	FP	6	2
緒方	FP	0	0
高橋	FP	3	1
戸田政	FP	9	3
藤本	FP	1	1
松本	FP	7	4
山本	FP	11	8
迫	FP	0	0
		51	26

【日新】		S	得
三田	GK	0	0
筒本	GK	0	0
泉	FP	4	1
徳田	FP	4	1
大庭	FP	11	3
吹上	FP	0	0
関本	FP	19	4
脇若	FP	4	1
森	FP	1	0
湯中	FP	1	1
		44	11

（PT）【湧】津川1（0）、高橋2（1）、山本3（3）【日】脇若1（1）

○……前半立ち上り湧永は、日新からの単調なパスを読み木野のカットからの速攻で得点し5分から20分を経過したところで10―2とし、一気に日新を引き離した。20分以降日新も立ち直りを見せ大庭、関本らで得点を重ねたが及ばず、後半に入ってからも湧永の攻撃は勢いに乗るばかりで、湧永の速攻に始まり、速攻に終わるというゲームになった。これで湧永は前後期合わせ9連勝とし、首位を堅持した。

女子第2週 第一日

▽高岡

大崎電気（埼玉）8（5―3、3―4）7 東京重機（東京）

（審・柳沢、加藤）

【大崎】		S	得
中島	GK	0	0
藤村	GK	0	0
中村	FP	2	1
席定	FP	2	0
工藤	FP	1	0
内野	FP	0	0
大場	FP	13	3
深堀	FP	2	1
佐々木	FP	3	3
西	FP	0	0
陽田	FP	4	0
小笠原	FP	0	0
		27	8

【重機】		S	得
佐久間	GK	0	0
鈴木	FP	4	1
折口	FP	8	3
古谷	FP	3	0
宮下	FP	0	0
細谷	FP	3	1
横山	FP	7	1
宮田	FP	0	0
沖山	FP	2	1
		27	7

（PT）【大】深堀1（1）、佐々木1（1）、【重】細谷1（1）

○……前半開始早々に大崎はPTを得て、深堀がこれを決めて先制し続いて大場の好シュートで連取しさい先よいスタートを切った。しかしながら後半に入り、6分過ぎに重機は鈴木、折口と連続得点し5―5と同点に追いつき、それ以後1点を争う好ゲームが展開されたが、後半終了15秒前大崎は佐々木PTの得点で8―7とし、劇的な幕切れとなった。

日本ビクター（茨城）13（5―4、8―4）8 ブラザー工業（愛知）

（審・柳沢、加藤）

【ビク】		S	得
鈴木	GK	0	0
斉藤	GK	0	0
加藤	FP	8	5
穂積	FP	10	4
小島	FP	5	3
染谷	FP	3	0
斉藤	FP	1	0
藤原	FP	0	0
池田	FP	2	1
伊藤	FP	1	0
江橋	FP	1	0
岩城	FP	0	0
		31	13

【ブラ】		S	得
山本	GK	0	0
屋比久	GK	0	0
岩井	FP	1	0
山中	FP	6	2
則武	FP	0	0
小森	FP	7	3
楠石	FP	1	0
宮平	FP	7	1
植田	FP	1	1
比嘉	FP	0	0
川村	FP	0	0
中川	FP	2	1
		25	8

（PT）【ビ】小島2（1）、【ブ】小森1（1）

○……前期の惜敗を胸に試合に臨んだブラザーであったが、ビクターの素晴しい闘志の前には、日頃の元気さが出せずにまたしても前期に続き惜敗してしまった。

▽宮崎

ジャスコ（三重）21（11―2、10―4）6 大和銀行（大阪）

（審・森、島田）

【ジャ】		S	得
久保	GK	0	0
山本	GK	0	0
平田	FP	3	0
松下	FP	8	5
林	FP	1	1
金田	FP	5	4
鈴木	FP	3	3
河田	FP	9	4
笠	FP	0	0
若田	FP	8	4
横山	FP	1	0
辻本	FP	3	0
		41	21

【大和】		S	得
中尾	GK	0	0
丸山	GK	0	0
宮本	FP	9	3
富家	FP	4	0
増永	FP	11	1
義川	FP	6	2
内海	FP	0	0
西田	FP	1	0
米盛	FP	0	0
東木	FP	2	0
中武	FP	5	0
岡村	FP	0	0
		38	6

（PT）【ジ】松下2（2）、鈴木2（2）、河田1（1）【大】宮本2（1）増永1（0）

○……前半10分まで大和はきびきびした動きで2―2とジャスコにピッタリと付き、好試合と思われたが、絶好のPTを大和は得点に結び付けることができず、これを機にペースを取り戻したジャスコが一気に加点し、前半で勝敗が決まってしまった。

男子第2週 第二日

▽石川

三景（東京）21（11―10、10―8）18 三菱レイヨン（広島）

（審・若山、村井）

【三景】		S	得
小林	GK	0	0
佐々木	FP	3	2
内藤	FP	0	0
鈴木	FP	7	2
山村	FP	8	3
川島	FP	2	0
中村	FP	0	0
村田	FP	15	6
中馬	FP	7	4
西窪	FP	8	4
吉近	FP	0	0
		50	21

【三菱】		S	得
藤本	GK	0	0
中嶋	GK	0	0
善本	FP	7	3
岩本	FP	9	5
岡村	FP	2	0
大林	FP	6	3
大江	FP	10	5
末弘	FP	2	2
田中	FP	0	0
沖重	FP	1	0
		37	18

（PT）【景】佐々木1（1）、鈴木2（1）、村田2（2）

○……前半開始5分過ぎから互いに得点し合うシーソーゲームとなり、観客を大いに沸かせたが、結果としてシュート数に勝る三景が三菱の追撃を振り切った。

▽宮崎

本田技研（三重）38（18―8、20―14）22 日新製鋼（広島）

位置	日新	S	得
GK	三田	0	0
GK	筒木	0	0
FP	泉	7	4
FP	徳田	9	4
FP	大庭	7	2
FP	吹上	0	0
FP	関本	16	4
FP	脇若	14	8
FP	森	2	0
FP	湯中	0	0
		55	22

得	S	本田	位置
0	0	柴田	GK
0	0	細野	GK
4	6	田上	FP
15	22	佐藤	FP
7	10	喜井	FP
2	3	豊岡	FP
0	0	高木	FP
0	0	川上	FP
0	0	松永	FP
3	4	矢野	FP
0	0	嶋林	FP
7	10	西田	FP
38	55		

（審・森、島田）

（PT）【本】佐藤4（4）、喜井1（1）【日】大庭1（1）、脇若3（3）

○……双方合わせて60点、シュート数にして110本というシュート合戦の中で、本田佐藤がPTゴールも含め実に15得点をたたき出すというリーグ始まって以来のゲーム展開となり、貫禄の本田が難なくゲームをものにした。

女子 第2週 第二日

▽石川

日立栃木（栃木）11（6－4、5－4）8 日本ビクター（茨城）

位置	ビク	S	得
GK	鈴木	0	0
GK	塙	0	0
FP	加藤	8	3
FP	穂積	14	3
FP	小島	3	0
FP	染谷	2	2
FP	斉藤	0	0
FP	池田	2	0
FP	伊藤	2	0
FP	江橋	0	0
FP	寺村	0	0
FP	市村	0	0
		31	8

得	S	日立	位置
0	0	粂谷	GK
0	0	高橋	GK
0	3	山井	FP
3	5	晴山	FP
2	7	吉田	FP
3	4	小根沢	FP
0	0	荒木	FP
0	2	田村	FP
0	0	大輪	FP
0	0	山戸	FP
3	8	島田	FP
0	0	水上	FP
11	29		

（審・柳沢、加藤）

（PT）【日】島田1（1）【ビ】小島2（0）

○……前半開始直後日立は島田の好シュートで先取点を上げ、その後も波に乗り15分には5－2とビクターを引き離した。後半に入ってからも日立は、固いディフェンスと晴山。小根沢の加点で追いすがるビクターを見事に振り切ったこの試合ビクターは得意の速攻が決まらずに終わり、手痛い一敗であった。

▽宮崎

立石電機（熊本）17（7－4、10－5）9 大和銀行（大阪）

位置	大和	S	得
GK	中尾	0	0
GK	丸山	0	0
FP	宮本	11	1
FP	富家	1	0
FP	増永	6	3
FP	義川	2	0
FP	内海	0	0
FP	西田	4	3
FP	米盛	0	0
FP	東木	5	0
FP	中武	2	0
FP	岡村	4	2
		35	9

得	S	立石	位置
0	0	和田	GK
0	0	丸山	GK
2	6	篠田	FP
3	3	山下	FP
0	2	平下	FP
5	12	紀野	FP
0	1	林	FP
2	8	池渕	FP
2	8	橋ノ口	FP
0	1	桑原	FP
3	4	姫野	FP
0	0	羽立	FP
17	45		

（審・日野、近藤）

（PT）【立】紀野1（1）、池渕1（0）、橋ノ口1（1）、【大】宮本2（0）、西田1（1）

○……全体的にスピードとテクニックに勝る立石が調和のとれたコンビプレーで着実に点を重ねゲームをほぼ一方的なものにした。大和は増永。西田らの健闘が光ったがそれもむなしく、10連敗となってしまった。

第3週（栃木）

□男子

三景（東京）18（8－6、9－12）17 大崎電気（埼玉）

位置	大崎	S	得
GK	岡部	0	0
GK	原田	0	0
FP	佐藤	0	0
FP	井手	7	2
FP	橋本	2	1
FP	坂口	1	1
FP	斉藤	9	4
FP	新田	0	0
FP	能波	9	4
FP	佐伯	4	1
FP	椿原	5	4
FP	家村	0	0
		37	17

得	S	三景	位置
0	0	小林	GK
7	11	佐々木	FP
0	0	内藤	FP
2	9	鈴木	FP
1	4	山村	FP
0	0	川島	FP
0	0	中村	FP
5	11	村田	FP
2	6	中馬	FP
1	3	西窪	FP
18	44		

（審・山下、高橋）

（PT）【三】村田1（1）【崎】井手1（1）、斉藤2（1）、能波2（2）椿原1（1）

○……前半開始から互いに固いディフェンスで双方共に得点なく4分過ぎに、その均衡を破る大崎椿原の小気味良いシュートで、やっと場内も湧き出した。その後波に乗って、井手のPT、斉藤のゴールと3点連取したが、三景も村田鈴木、中馬の得点で追いつき予想通りの好ゲームとなった。後半に入ってからも1点を争うゲーム展開となり、後半終了2分前大崎能波がPT決めて16－16の同点としたが、終了1分前三景村田の確実なPTゴールにより、前期に引き続き三景が大崎に連勝した。

□女子

日立栃木（栃木）14（9－2、5－0）2 東京重機（東京）

位置	重機	S	得
GK	佐久間	0	0
FP	鈴木	3	0
FP	折口	7	1
FP	古谷	3	0
FP	宮下	0	0
FP	細谷	3	0
FP	横山	9	1
FP	宮田	0	0
FP	沖山	0	0
		25	2

得	S	日立	位置
0	0	粂谷	GK
0	0	高橋	GK
6	1	山井	FP
5	7	晴山	FP
0	4	吉田	FP
4	7	小根沢	FP
1	1	荒木	FP
0	0	田村	FP
0	1	大輪	FP
0	0	山戸	FP
4	11	島田	FP
0	2	水上	FP
14	34		

（審・永山、斉藤）

（PT）【日】荒木1（1）、水上1（0）

○……ビクターに快勝し波に乗っている日立は、重機に先取点を許しはしたが、島田のシュートが決まってからは着々と得点を重ね前半開始後20分まで6－2とし、その後も重機に得点を許さず島田、小根沢の3ゴールを加え前半を9－2とし、ほぼ試合を決定的なものにした。後半に入ってからは完全に日立のペースで進み、実に晴山だけで5得点をたたき出し追いすがる重機を圧倒した。この試合日立は、晴山、小根沢、島田の3ゲッターで13点を決めている。一方重機は試合こそ最後まで捨てずに健闘したが、シュートにもう一つピリッとしたものが無かった。

日本ビクター（茨城）18（9－3、9－1）4 大和銀行（大阪）

○……立ち上がりからビクターは点を重ねて行き、大和の単調な攻撃に積極的なディフェンスを敷き守りからの速攻というビクターらしい展開で、大和を寄せつけず圧勝した。それにもまして大和は執拗にシュートを放つが、そのシュ

ートにしても一工夫も、二工夫も欲しいところであった。

	【大和】	S	得
GK	中尾	0	0
	丸山	0	0
FP	宮本	12	1
	楊枝	1	0
	増永	6	1
	義川	5	1
	内海	1	1
	西田	2	0
	米盛	0	0
	東木	7	0
	中武	7	1
	岡村	1	0
		42	4

（審・住尾・山内）

	【ピク】	S	得
GK	鈴木	0	0
	塙	0	0
FP	加藤	9	4
	穂積	17	8
	小島	6	1
	染谷	2	2
	斉藤	3	2
	藤原	0	0
	池田	3	1
	伊藤	1	0
	江橋	0	0
	岩城	2	0
		43	18

（PT）【ピ】穂積5（4）、小島3（1）、斉藤1（0）【大】楊枝1（0）

第4週（静岡）

□男子

大崎電気（埼玉） 18（9−8 / 9−6）14 イーグルス（大阪）

	【イグ】	S	得
GK	広川	0	0
	本田	0	0
FP	高橋	7	2
	池本	13	3
	足羽	0	0
	橋本	3	2
	河原崎	8	3
	早川	1	0
	福井	12	4
	北居	0	0
	山口	0	0
		44	14

（審・鈴木・大橋）

	【大崎】	S	得
GK	岡部	0	0
	原田	0	0
FP	佐藤	2	1
	井手	7	5
	橋本	2	0
	坂口	3	2
	斉藤	3	0
	新田	3	2
	能波	0	0
	佐伯	0	0
	椿原	13	5
	家村	4	3
		37	18

（PT）【崎】井手1（1）、椿原1（0）【イ】高橋1（1）

○……この一戦にて大崎は貴重な白星を上げたと共に、昨年第一回リーグと合わせ対戦成績を一勝一敗一分の文字通り5分とした。試合開始前の練習から大崎にはこれまでにない熱気が全員にみなぎっていた。立ち上がり開始早々、椿原のシュートで大崎が先行し、イーグルスもすかさず高橋のゴールに依り1−1とする実力伯仲の両チームは、前半開始後26分過ぎまで得点されたらすぐにかえす、という具合で進行し、終了2分前に大崎椿原が4点目のゴールを決め9−8とわずかにリードして前半を終了。後半に入ると逆にイーグルスが大崎のスキを突き、ベテラン福井、池本と得点し5分過ぎには11−9と2点のリードをうばった。しかしながらそれ以後20分までの間にイーグルス1点に対し、大崎は6点を取り、14−12と逆に大崎がリードをうばいイーグルスが2点を返えすも、大崎は3点を返えし、そのまま試合が終了したこの試合大崎は、GK岡部と若手椿原の両選手の活躍が非常に光っていた。

重機、ブラザーに大金星！

□女子

東京重機（東京） 9（4−6 / 5−1）7 ブラザー工業（愛知）

○……栃木で地元日立に完敗した重機であったが、今回の一戦では素晴しい試合を見せてくれた。前半開始1分重機は折口のゴールを機に細谷がPTを決めて2−0と好スタートを切った。一方ブラザーは小森の好リードで着々と得点を上げ、前半6−4のスコアで終了。後半に入ってからブラザーはゲームメーカー小森が2本も続けてPTをはずし、これを機にブラザーは調子を崩してしまった。この間に重機は全員が非常によく走り、横山のロングシュート、折口の速攻などで確実な加点による逆点でそのままブラザーを押し切る大金星をあげた。

	【ブラ】	S	得
GK	山本	0	0
	屋比久	0	0
FP	岩井	4	2
	山中	11	2
	則武	0	0
	小森	9	2
	楠石	1	0
	宮平	3	0
	植田	0	0
	比嘉	0	0
	川村	1	0
	中川	3	1
		32	7

（審・佐野・岡前）

	【重機】	S	得
GK	佐久間	0	0
FP	鈴木	3	1
	折口	12	3
	古谷	3	0
	宮下	1	0
	細谷	3	1
	横山	9	4
	宮田	1	0
	沖山	1	0
		33	9

（PT）【重】細谷1（1）、【ブ】小森2（0）

第5週

□男子

▽長野（戸倉）

大同特殊鋼（愛知） 25（11−4 / 14−8）12 大崎電気（埼玉）

	【大崎】	S	得
GK	福本	0	0
	岡部	0	0
FP	佐藤	3	2
	井手	9	2
	橋本	0	0
	坂口	0	0
	斉藤	11	6
	新田	2	0
	能波	0	0
	佐伯	4	0
	椿原	12	1
	家村	3	1
		44	12

（審・柳沢・加藤）

	【大同】	S	得
GK	柳川清	0	0
	倉谷	0	0
FP	藤中	2	0
	中井	10	5
	松原	1	0
	花輪	8	2
	柳川実	5	4
	大原	6	1
	中本	2	0
	蒲生	20	13
	蒲田	0	0
		54	25

（PT）【同】蒲生1（1）【崎】斉藤1（1）

○……前半開始後立て続けに大同蒲生が大崎陣営を襲い3−0とリードを奪い、大崎も反撃に移るが大同の固いディフェンスにはばまれ25分までに、10−3と大同が大きくリードし主導権を握った。後半に入ってからは、大崎の斉藤が3連続得点をし元気を回復したかに見えたが、その後の大同は蒲生を中心として中井、花輪らが着実に加点し大崎を圧倒した。この試合で大同、蒲生は実に13得点をあげた。

湧永薬品（広島） 23（9−6 / 14−5）11 イーグルス（大阪）

	【大阪】	S	得
GK	広川	0	0
	本田	0	0
FP	高橋	12	6
	池本	0	0
	足羽	0	0
	安達	0	0
	橋本	2	0
	河原崎	6	1
	早川	6	0
	福井	15	3
	北居	4	1
	樫塚	0	0
		45	11

（審・佐野・岡前）

	【湧永】	S	得
GK	今井	0	0
	福井	0	0
FP	津川	12	4
	木野	6	4
	穂積	6	3
	緒方	0	0
	高橋	3	0
	戸田政	8	4
	藤本	0	0
	松本	7	3
	山本	7	5
	戸田栄	0	0
		49	23

（PT）【湧】山本1（1）【イ】高橋2（2）、早川1（0）、福井2（2）

○……前半10分過ぎまで湧永が3−0とリードしていたが、その後イーグルスも湧永ディフェンスのスキをついてペナルティースローにもち込み、高橋（精）、福井で4点を返し20分過ぎでは湧永に対し4−5と一点差につめよりほぼ互角となった。しかしながら前半終了際近く、イーグルスのミスを巧みに利用して津川、木野、山本と加点し、湧永3点リードのまま後半に持ち込んだ。後半に入ってからは、イーグルスは執拗にシュートを放つがゴールならず逆に湧永の速攻の材料とされ、15分過ぎには14−7と大きく引き離されてしまった。これで湧永は何なく通算10勝目をあげた。

▽三重（四日市）

本田技研（鈴鹿） 29（16−6 / 13−8）14 三菱レ大竹（広島）

	【三菱】	S	得
GK	藤本	0	0
	中嶋	0	0
FP	善本	14	5
	岩本	14	2
	岡村	0	0
	大林	9	0
	大江	10	5
	末弘	0	0
	田中	2	2
	沖重	0	0
		49	14

（審・梶川・神谷）

	【本田】	S	得
GK	柴田	0	0
	細野	0	0
FP	田上	10	7
	佐藤	16	11
	喜井	8	4
	豊岡	1	0
	高木	1	1
	川上	0	0
	松永	0	0
	矢野	5	3
	嶋林	2	1
	西田	4	2
		47	29

（PT）【本】佐藤5（4）

○……立ち上り三菱は、本田の佐藤、喜井をマンツーマンし4対4の攻防でスタートしたのも束の間10分過ぎまでに本田、佐藤がPT3本を含む5得点、田上、喜井らで3得点をあげ、8−3と早くも本田に主導権を渡してしまった。三菱も大江を中心とした小気味良い動きで応戦したが、終始本田のパワーあふれる速い攻撃と多彩な

攻めで追撃をかわされた。

日立、ジャスコも制す

□女子

▽長野（戸倉）

日立栃木（栃木）11（5－4、6－4）8 立石電機（熊本）

【立石】

	選手	S	得
GK	和田	0	0
GK	丸山	0	0
FP	篠田	5	1
FP	山下	2	0
FP	平下	2	0
FP	紀野	13	6
FP	林	1	0
FP	池渕	1	0
FP	橋ノ口	1	0
FP	桑原	1	0
FP	姫野	1	1
FP	羽立	0	0
		27	8

【日立】

	選手	S	得
GK	桑谷	0	0
GK	高橋	0	0
FP	山井	3	2
FP	晴山	6	3
FP	吉田	2	1
FP	小根沢	1	0
FP	荒木	2	2
FP	田村	2	1
FP	山戸	0	0
FP	島田	13	2
FP	箕輪	0	0
FP	水上	0	0
		29	11

（審・清水、千野）

〔PT〕【日】荒木2（2）【立】紀野4（4）

○……前半スタートから互いに相手のスキをうかがい探り合いの展開となったが、6分過ぎに立石、姫野が日立のスキをついて得点し互いの均衡が破れ日立も次第に動きが良くなり、晴山、荒木、晴山と連続で得点し、日立ペースで試合が運ばれた。後半に入ってからも前半のリードを巧くきかしてペースを保ち、立石では紀野にボールを集めて反撃し、15分までに、8－9としたが、他の選手に精彩なく、調和の良くとれたコンビプレーで押し進む日立が、この大事な一戦を勝ち得た。

▽三重（四日市）

ジャスコ（三重）15（9－2、6－4）6 大崎電気（埼玉）

【大崎】

	選手	S	得
GK	中島	0	0
GK	藤村	0	0
FP	中村	1	1
FP	席定	3	1
FP	工藤	0	0
FP	内野	1	0
FP	大場	11	1
FP	深堀	5	1
FP	佐々木	3	0
FP	西	11	1
FP	陽田	1	1
FP	小笠原	0	0
		36	6

【ジャ】

	選手	S	得
GK	久保	0	0
GK	山本	0	0
FP	平田	0	0
FP	松下	9	5
FP	林	2	1
FP	金田	3	1
FP	鈴木	2	1
FP	河田	9	4
FP	笠	1	0
FP	若田	4	1
FP	横山	0	0
FP	辻本	3	2
		33	15

（審・吉田、福井）

〔PT〕【ジ】松下2（1）、林1（1）、鈴木2（1）、【大】深堀3（1）、西1（0）

○……前期に千葉で大敗した大崎がこの試合で意地を見せてくれるかと期待されたが、やはりシュートに優るジャスコが終始よくコンビのとれた早い動きで大崎陣営を襲い、ディフェンスに至っては大崎からの攻撃を殆んど封じ、9－2と前半で大きくリードした。後半になってようやく大崎は自己のペースを少しづつ取り戻し、動きも良くなって善戦したが、決め手にもう一つ冴がなく、そのままジャスコに押し切られてしまった。

第6週第1日

□男子

▽大阪

本田技研（三重）21（10－7、11－7）14 大阪イーグルス（大阪）

○……前半5分イーグルス橋本の得点を皮切りに、8分池本、9分福井とあいついで得点。一方本田

【イー】

	選手	S	得
GK	広川	0	0
GK	本田	0	0
FP	高橋	6	2
FP	池本	12	4
FP	足羽	1	1
FP	橋本	3	1
FP	河原崎	4	1
FP	早川	5	2
FP	福井	10	3
FP	北居	0	0
FP	山口	0	0
		41	14

【本田】

	選手	S	得
GK	柴田	0	0
GK	細野	0	0
FP	田上	8	4
FP	佐藤	13	8
FP	喜井	8	2
FP	豊岡	3	0
FP	高木	0	0
FP	勝田	0	0
FP	松永	0	0
FP	矢野	5	4
FP	嶋林	0	0
FP	西田	8	3
		45	21

（審・吉田、福井）

〔PT〕【本】佐藤3（2）、【イ】高橋1（1）

も7分佐藤のPTゴール9分30秒矢野の得点と、相方共に互角に渡り合い終了間際に本田が矢野の得点によって1点のリードとし、後半に折り返した。後半に入ってからも1点を争うゲームとなったが終盤に本田は佐藤、田上、喜井らの点により、いっきに追いすがるイーグルスをつきはなした。

▽呉

湧永薬品（広島）31（12－8、19－8）16 三景（東京）

【三景】

	選手	S	得
GK	小林	0	0
FP	佐々木	10	4
FP	内藤	0	0
FP	鈴木	3	1
FP	山村	6	1
FP	川島	3	1
FP	中村	0	0
FP	村田	17	6
FP	中馬	5	0
FP	西窪	8	3
FP	吉近	0	0
		52	16

【湧永】

	選手	S	得
GK	今井	0	0
GK	福井	0	0
FP	津川	7	2
FP	木野	10	8
FP	穂積	3	2
FP	緒方	0	0
FP	高橋	6	4
FP	戸田	6	4
FP	藤本	2	2
FP	松本	5	3
FP	山本	9	6
FP	迫	0	0
		48	31

（審・槙、青木）

〔PT〕【湧】高橋1（0）、山本2（2）、【三】佐々木1（1）、村田2（2）

○……三景、佐々木、西窪の2点先取でゲームが進行したが、前半4分過ぎから湧永は木野、松本で3得点をあげ一気に逆点。三景は7分に9番村田が絶好のPTをはずし、以後湧永ペースで進んだ。後半に入っては、湧永の一方的なゲームとなる。湧永7番戸田、10番山本といった若手の活躍がこのゲームでも目立った。

大同特殊鋼（愛知）28（15－7、13－10）17 日新製鋼（広島）

【日新】

	選手	S	得
GK	三田	0	0
GK	筒本	0	0
FP	泉	8	1
FP	徳田	7	4
FP	大庭	12	3
FP	吹上	3	0
FP	関本	8	2
FP	脇若	13	6
FP	森	2	0
FP	湯中	2	1
		56	17

【大同】

	選手	S	得
GK	柳川清	0	0
GK	倉谷	0	0
FP	藤中	1	0
FP	中井	8	5
FP	松原	0	0
FP	花輪	10	6
FP	柳川実	7	4
FP	大原	9	3
FP	中本	2	2
FP	蒲生	15	8
FP	浦田	0	0
		52	28

（審・常田、片山）

〔PT〕【大】蒲生4（2）、【日】脇若3（3）

○……立ち上がりから大同の速攻に会い、日新は苦戦。しかし前半で大差が開いたものの、後半に入り日新3番徳田、7番脇若が良く健闘し試合を大きく盛り上げた。この試合、日新の善戦といえた。

ジャスコも日立に屈す

□女子

▽大阪

日立栃木（栃木）10（3－5、7－4）9 ジャスコ（三重）

得	S	【日立】		【ジャ】	S	得
0	0	粂谷	GK	久保	0	0
0	0	高橋		山本	0	0
1	4	山井	FP（審・幸田 狩野）	平田	0	0
2	9	晴山		松下	11	4
0	6	吉田		林	1	0
1	1	小根沢		金田	2	2
0	1	荒木		鈴木	2	0
0	0	田村		河田	4	1
0	0	山戸		笠	0	0
6	10	島田		若田	4	1
0	0	箕輪		横山	0	0
0	0	水上		辻本	1	1
10	31				25	9

（PT）【日】荒木1（0）、島田1（1）、【ジ】松下2（1）、河田1（1）

○……前半ジャスコ松下の速い動きとシュート力で、10分、11分と得点、15分PTで更に加点し、日立は島田のロングシュートで応戦するが、5―3とジャスコリードで前半を終了。しかし、後半に入るや日立は前半とはうって変わり動きが良くなり、また勝ちを意識しジャスコは固くなりスピードも落ち、13分間得点出来ずその間に日立が4点連取し逆点。ジャスコも15分過ぎからメンバーを変えて強引に攻め1点差に追いついたが日立GK高橋の相継ぐ好守で加点できずそのまま終了の笛を迎えた。

ブラザー工業（愛知）13（7―2 6―8）10 大和銀行（大阪）

○……ブラザー小森、宮平を中心に速い動きで大和ディフェンスをかく乱し、前半を7―2と大和を圧倒した。後半が始まってブラザー宮平の2分間の退場の好機に、

得	S	【ブエ】		【大和】	S	得
0	0	山本	GK	中尾	0	0
0	0	屋比久		丸山	0	0
1	4	山中	FP（審・丸若 光島）	宮本	12	0
1	2	岩井		富家	0	0
0	2	則武		増永	12	4
4	9	小森		義川	1	0
0	1	楠石		内海	0	0
3	5	宮平		西田	0	0
3	5	植田		米盛	0	0
0	0	比嘉		東木	1	0
1	5	中川		中武	9	4
0	0	平井		岡村	3	2
13	33				38	10

（PT）【ブ】則武1（0）、小森2（1）、【大】なし

大和はペースを取り戻し連続して得点、更に動きも良くなりGK中尾の好守備で速攻にて加点し田村の好リードで20分位まではむしろ大和ペースで試合が展開され、増永の相継ぐ得点により、試合を盛り上げた。ブラザーは終了3分前の小森のPT得点により試合を決定ずけ、調子の上った大和を押し切った。

▽呉

立石電機（熊本）12（3―3 9―4）7 大崎電気（埼玉）

得	S	【立石】		【大崎】	S	得
0	0	和田	GK	中島	0	0
0	0	丸山		藤村	0	0
3	11	篠田	FP（審・荒谷 平田）	中村	4	0
0	1	山下		席定	0	0
1	6	平下		工藤	1	0
4	8	紀野		内野	3	1
0	0	林		大場	10	3
0	4	池渕		深堀	1	0
2	2	橋口		佐々木	0	0
0	1	桑原		西	8	3
1	1	姫野		陽田	3	0
1	2	羽立		小笠原	0	0
12	36				30	7

（PT）【立】紀野1（1）、池渕1（0）、橋口1（1）、【大】内野1（0）

○……前半は互いに守りも固く追いつ追われつの、やや荒っぽいゲーム展開となり3―3のタイスコアで後半を迎えた。後半に入ってからは、立石は速い動きで篠田、紀野らで得点差を拡げ、追いすがる大崎を振り切った。大崎は前半立ち上がりPTをはずしたのが痛かった。

第6週 第二日

□男子

▽神戸

イーグルス（大阪）23（10―9 23―8）17 日新製鋼（広島）

得	S	【イー】		【日新】	S	得
0	0	広川	GK	三田	0	0
0	0	本田		筒本	0	0
5	12	高橋	FP（審・新村 山本）	泉	7	3
0	0	池本		徳田	11	6
1	1	足羽		大庭	10	1
2	5	橋本		吹上	4	1
5	8	河原		関本	8	2
1	6	早川		脇若	7	4
8	18	福井		森	0	0
1	2	北居		湯中	0	0
0	0	山口				
23	52				47	17

（PT）【イ】福井2（2）、【日】脇若4（2）

▽徳山

大同特殊鋼（愛知）29（10―7 19―6）13 三景（東京）

○……スローオフ直後三景山村のカットボールを中馬が決めたが、大同は余裕のあるプレーで蒲生が連続得点した。三景もその後、3点連取、後半

得	S	【大同】		【三景】	S	得
0	0	柳川清	GK	小林	0	0
0	0	倉谷				
0	0	藤中	FP（審・片山 常田）	佐々木	9	2
3	7	中井		内藤	0	0
0	1	松原		鈴木	1	0
4	10	花輪		山村	8	0
5	6	柳川実		川島	4	1
6	11	大原		中村	0	0
2	3	中本		村田	16	3
9	16	蒲生		中馬	6	3
0	0	浦田		西窪	6	4
				古近	0	0
29	54				50	13

（PT）【大】花輪1（1）、蒲生2（2）、【三】佐々木1（1）、村田2（2）

も先取点と調子がよく、場内をわかせたが、大同は大原の速攻連続点でトドメをさした。三景GK小林は再三再四の好守を見せ、場内を楽しませた。

湧永薬品（広島）21（13―5 8―9）14 本田技研（三重）

得	S	【湧永】		【本田】	S	得
0	0	今井	GK	柴田	0	0
0	0	福井		細野	0	0
4	9	津川	FP（審・槇 青木）	田上	11	4
3	8	木野		佐藤	18	4
2	8	穂積		喜井	11	4
0	0	緒方		豊岡	3	1
1	2	高橋		西田	2	0
2	4	戸田		高木	1	1
1	2	藤本		川上	0	0
4	5	松本		松永	0	0
4	10	山本		矢野	3	0
0	0	迫		嶋林	0	0
21	48				49	14

【PT】【湧】なし、【本】2（2）

○……前半は湧永ペース。速攻・サイド攻撃と次々とくり出してくる湧永に対し、本田はディフェンスをくずされてしまい全日本GK柴田も手のほどこしようがないといった感じだ。しかし後半にはいると本田の攻撃の歯車もようやく合ってきて、互角の勝負をしたが前半の失点はあまりにも大きかった。

湧永の守りの激しさとGK福井の好守が光っていた。

□女子

▽神戸

ブラザー（愛知）12（7―5 5―1）6 大崎電気（埼玉）

得	S	【ブエ】		【大崎】	S	得
0	0	山本	GK	中島	0	0
0	0	屋比久		藤村	0	0
0	2	岩井	FP（審・幸田 狩野）	中村	2	0
1	7	山中		席定	3	0
0	0	則武		工藤	0	0
4	10	小森		内野	3	0
1	4	楠石		大場	15	2
3	9	宮平		深堀	7	2
0	4	植田		佐々木	0	0
0	0	比嘉		西	10	2
0	0	中川		陽田	1	0
3	4	平井		小笠原	0	0
12	40				41	6

（PT）【ブ】小森2（2）、植田1（0）、【大】深堀3（2）

○……再浮上をめざすブラザーだがどうもまだ攻守ともにしっくりいかない感じが強い。前半18分には深堀のPTで同点に追いつかれて苦戦となった。しかしここで奮起したブラザーは2点連取し、後半は大崎の西がベンチにさがったこともあってブラザーペースとし着実に守って最小失点に押え再び首位（9勝3敗）に立ったが、小森にたよりすぎの感じを何とかしないと、まだまだ安心はできないようだ。

立石とジャスコが無念の引きわけ

▽徳山

立石電機（熊本） 9（4－2, 5－7）9 ジャスコ（三重）

【立石】		S	得
GK	和田	0	0
	丸山	0	0
FP	篠田	6	0
	山下	3	1
	平下	5	0
	紀野	18	7
	林	0	0
	池渕	7	0
	橋口	0	0
	桑原	0	0
	姫野	6	1
	羽立	0	0
		45	9

（審・横瀬・岡村）

【ジャ】		S	得
GK	久保	1	0
	山本	0	0
FP	平田	1	1
	松下	5	1
	林	0	0
	金田	3	2
	鈴木	7	0
	河田	15	5
	笠	0	0
	若田	4	0
	横山	1	0
	辻本	0	0
		37	9

（PT）【ジ】松下2（1）、金田1（1）、【立】紀野6（5）

○……前半、ジャスコ松下を立石の姫野がマンツーマンでマークし試合が展開された。立石姫野、ジャスコ河田の得点で立石リード、後半に入り、ジャスコがよく走り立石の早いツブシをふり切って平田で同点、河田が逆転のゴールを15分決めた。

しかし、立石は、22分のジャスコ若田の退場に乗じて1点追加しさらに紀野、タイムアップ50秒前の山下のゴールで引き分けた。

この引き分けで、両チームとも勝ち点が17となり、ブラザーに首位をゆずるという、両者ともに痛い引き分けであった。

日本リーグ勝敗表（後期第7週第1日まで）

〔男子〕	湧永	大同	三景	イグ	本田	大崎	日新	三菱	P
湧永薬品	……	○	○○	○○	○○	○	○○	○○	24
大同特鋼	●	……	○○	○○	○	○○	○○	○○	22
三　景	●●	●●	……	○	○●	○○	●	○○	12
イーグル	●●	●●	●	……	○●	○●	○○	○	10
本田技研	●●	●	●○	●○	……	○	○○	○	12
大崎電気	●	●●	●●	●○	●	……	○○	○○	10
日新製鋼	●●	●●	○	●●	●●	●●	……	○	4
三菱レ	●●	●●	●●	●	●●	●●	●	……	0

〔女子〕	ブラ	ジャ	ビク	立石	大崎	日立	重機	大和	P
ブラザー	……	○○	●●	○	○○	○	○●	○○	18
ジャスコ	●●	……	○	○△	○○	○●	○	○○	17
ビクター	○○	●	……	●	○○	○●	○○	○○	18
立石電気	●	●△	○	……	○○	○●	○○	○○	17
大崎電気	●●	●●	●●	●●	……	○	○○	○	8
日立栃木	●	●○	●○	●○	●	……	○○	○○	14
東京重機	●○	●	●●	●●	●●	●●	……	○	4
大和銀行	●●	●●	●●	●●	●	●●	●	……	0

・○●は左が前期，右が後期の勝敗
・右端Pは勝ち点を表わす

第7週第一日

ビクターが首位へ

□水海道

▽男子

大崎電気（埼玉） 24（15－12, 9－9）21 三菱レ（広島）

【三レ】		S	得
GK	藤本	0	0
	中嶋	0	0
FP	善本	7	2
	岩本	10	4
	岡村	4	2
	大林	4	0
	末広	0	0
	田中	1	1
	沖重	1	1
	大江	15	11
		42	21

（審・住尾・山内）

【大崎】		S	得
GK	福本	0	0
	岡部	0	0
FP	佐藤	7	4
	井手	6	3
	橋本	1	0
	坂口	8	7
	斎藤	9	3
	新田	1	0
	能波	9	3
	佐伯	1	0
	椿原	8	4
	家村	0	0
		50	24

（PT）【大】井手1（1）、斉藤1（1）、椿原1（1）【三】岩本1（1）、大江2（1）

前半終了直前、三菱レは岩本のゴールで同点に追いついたが、後半にはいると、大崎は坂口を中心に着々と加点し、10分には追いすがる三菱をつきはなした。三菱では大江がひとりで11点をあげ気を吐いた。

三菱レは、全日本総合を欠場、日本リーグも今季かぎりで退くことを表明するという、さびしいニュースが流れている。いつか返り咲く日を期待したい。

▽女子

ビクター（茨城） 16（9－3, 7－3）6 東京重機（東京）

【重機】		S	得
GK	佐久間	0	0
FP	鈴木	3	0
	折口	9	3
	古谷	6	1
	宮下	0	0
	細谷	1	1
	横山	7	1
	沖山	0	0
	宮田	1	0
		27	6

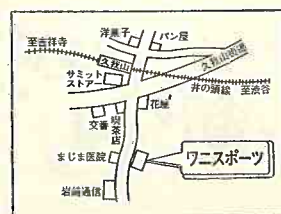
（審・永山・斉藤）

【日ビ】		S	得
GK	鈴木	0	0
	斉藤ま	0	0
FP	加藤	6	3
	穂積	9	3
	小島	4	3
	染谷	1	1
	斉藤ゆ	3	2
	藤原	0	0
	池田	5	4
	伊藤	0	0
	江橋	0	0
	岩城	0	0
		28	16

（PT）【日】穂積3（2）、小島1（1）、斉藤ゆ1（1）、【重】細谷1（1）

4強のうち、はじめに日立の嵐にあおられたビクターだが、その後、日立が次々とジャスコ、立石を喰い、他力ながら、立石、ジャスコが引き分けたこともあって、ビクターが首位におどり出た。

勝てば、ブラザーとともに首位に並ぶことのできるビクターは、地元ということもあってか、少々硬さが目立ち、立ち上がりからの東京重機の激しいディフェンスにあって得点をあげることができなかったが、5分加藤が強引に決めると、各選手が着々と加点して、決め手のない重機を引きはなし、フィールドプレーヤーのスターティングメンバーが全員得点をあげる結果となった。

ビクターは、立石、ジャスコ戦を残しているが、先に日立戦を終え、昇り調子にあるため、現在のブラザーよりは有利とみる。

日体大・東女体大が王座返り咲き

11月7日から11日にかけて，大阪市立中央体育館・東淀川体育館において行なわれた高松宮杯全日本学生選手権大会（男子20回・女子13回）は，東西の実力追中の中で，男子は日体大とはじめてベストフォーにおどり出た日大の対決となり，日体大が池之上の活躍で5年ぶり6度目の栄冠に輝やいた。女子も東京女体大が，日体大を降して，2年ぶり3度目の王座返り咲きを果たした。なお，全日本総合へは，男女とも5位までが出場権を得た。順位は次のとおり。

☆男子①日体②日大③名城④大体大⑤筑波　☆女子①東女体②日体③中京女④大体大⑤筑波

全日本学生選手権終わる

日体、京産を降す

▼男子一回戦（市立中央体育館）

中央大（関東）30（17－7、13－3）10 山口大（中四国）
中京大（東海）27（14－9、13－6）15 西南学院（九州）
日　大（関東）38（17－8、21－0）8 関西大（関西）
早　大（関東）29（15－5、14－8）13 京都教大（関西）
室蘭工大（北海道）22（9－5、13－7）12 仙台大（東北）
国士館大（関東）25（13－7、12－7）14 大阪大（関西）
近畿大（関西）36（22－10、14－7）17 金沢大（北信越）
名城大（東海）24（13－10、11－6）16 慶応大（関東）
筑波大（関東）23（13－7、10－3）10 大経大（関西）
九州大（九州）27（13－6、14－7）13 広島大（中四国）
名古屋大（東海）24（13－5、11－8）13 富山大（北信越）
法政大（関東）30（18－5、12－8）13 同志社大（関西）
大阪体大（関西）25（16－5、9－4）9 明治大（関東）
東北学院（東北）23（10－9、13－6）15 鹿児島大（九州）
東海大（関東）20（11－5、9－6）11 愛知教大（東海）
日体大（関東）22（13－12、9－7）19 京都産大（関西）

立ちあがり両チームとも固さが見え、再三、シュートをGKに当てていたが、2分半池之上がシュートを決めると日体の動きが良くなり、点を先行しはじめる。京産大も生駒のシュートが決まり出しついていく形ち。後半18分日体・大西の退場の間に京産も1点差まで追いあげ場内を湧かすが、焦りの見える京産は守りが甘くなり、あと5分というところでついに力つきてしまった。（川島）

国士館41点の猛攻

▼同二回戦・同

中央大 26（15－10、11－6）16 中京大
日　大 24（13－5、11－11）16 早　大
国士館大 41（20－4、21－4）8 室蘭工大
名城大 33（17－8、16－6）14 近畿大
日体大 30（13－8、17－4）12 九州大
法政大 35（17－11、18－7）18 名古屋大
大阪体大 15（6－8、9－5）13 東北学院
筑波大 22（11－8、11－3）11 東海大

関東の雄、筑波破る

▼同準々決勝・同

日　大 23（9－7、14－7）14 中央大

前半日大は鋭い突進からサイドで2対1を作り着々と加点、先手をとった。後手に回った中大は攻めに焦りが出て日大の速攻を呼び大きく点差をあけられた。後半も中大はペースをつかめず、点差をつめることが出来なかった。日大の新井田、山口のパスワークが光っていた。（吉田定静）

名城大 25（10－3、15－4）7 国士館大

名城大の巧みな攻撃に国士館大は一方的に攻められ大敗した。国士館大は身長において勝るもののパスミスやシュートの甘さがみられた。名城大は鈴木(康)を中心の攻撃で着々と加点していった。一方、国士館大も関本が時おり、好シュートを放つも焼け石に水の感があった。（藤本昇）

日体大 32（21－10、11－6）16 法政大

日体大の速攻が良く、また左サイドからのシュート、ロングシュートが決まりよく動いた。法政大は日体大の堅いディフェンスをなかなか突破できず得点に結びつけるのに苦しんだ。（井上真也）

大阪体大 18（10－6、8－7）13 筑波大

終始、大体大のペースで試合は進んだ。筑波GK須波は好守を見せていたが、大体大は股下を狙って成功。須波をまどわせた。大体大は志賀がチャンスメーカーとしてよく動き、最後まで冷静な試合運びをした。

後半20分前後の攻防が試合を分けたわけだが、大体大の前田・門河・井上と連続した速攻は見ごたえがあり、一気に筑波大を押し切った。関東の覇者が敗れるという波乱の一瞬であった。

決勝は関東勢同志に

▼同準決勝・東淀川体育館

日大 18（9－5, 9－9）14 名城大

【名城】	得	【日大】	得
GK 松井	0	GK 大畑	0
GK 松原	0	GK 門脇	0
FP 高橋	2	FP 新井田	3
西浜	0	桜井	4
山下	0	山口剛	2
谷元	3	今井	2
江崎	0	山口哲	7
鈴木康	4	仲田	0
鈴木輝	2	堂尻	0
安藤	3	高梨	0
瀬島	0	前島	0
榊原	0	水島	0
PT	（1）14	PT	18（3）

（審・浜野、北山）

終始日大ペースでゲームは展開され、新井田を中心に巧みなパス攻法でリードをつかみ、後半20分過ぎに2点差まで追いあげられたもののGK大畑の好守もあり、決勝に進出した。名城大もパス攻法のチームだが日大に一日の長があった。（藤本昇）

日体大 30（13－9, 17－9）18 大阪体大

【大体】	得	【日体】	得
GK 青木	0	GK 吉村	0
GK 丸山	0	GK 井藤	0
FP 稲田	0	FP 大西	0
多田	0	越石	2
島中	0	池之上	12
門河	4	工藤	4
前田	2	越前	0
藤井	0	船木	2
志賀	4	辻本	0
川谷	0	松井	10
井上	8	坂本	0
大崎	0	伊藤	0
PT	（3）18	PT	30（6）

（審・狩野、藤本）

日体ペースで進んでいた前半の残り5分に大体大は6点連取して追いあげ後半に期待をつないだが日体大は、池之上、松井が打ちまくり後半10分でつきはなした。

激戦の末、名城3位

▼3位決定戦・同

名城大 20（8－6, 8－10, 2－1, 2－2）19 大阪体大

【大体】	得	【名城】	得
GK 青木	0	GK 松井	0
GK 丸山	0	GK 松倉	0
FP 稲田	0	FP 高橋	5
多田	0	西浜	2
島中	8	山下	0
門河	1	谷元	1
前田	4	江崎	0
藤井	0	鈴木康	8
志賀	2	鈴木輝	2
川谷	0	安藤	2
井上	3	瀬島	0
大崎	1	榊原	0
PT	（0）19	PT	20（1）

（審・井上、北岡）

前後半を通じて両者とも互角の試合運びとなり最後まで予断を許さなかった。名城大のポストプレー、大体大のスカイプレーの応戦で場内は湧きに湧いた。そしてついに延長戦にもつれ込んだが、ついに大体大も名城大のパスワークについてゆけず惜敗した。（北山）

池之上が11点もぎとる

▼同決勝・同

日体大 16（10－6, 6－6）12 日大

【日大】	得	【日体】	得
GK 大畑	0	GK 吉村	0
GK 門脇	0	GK 井藤	0
FP 新井田	0	FP 大西	0
桜井	3	越石	4
山口剛	2	三谷	0
今井	2	池之上	11
山口哲	3	工藤	0
仲田	0	越前	0
堂尻	0	船木	0
高梨	2	辻本	0
前島	0	松井	1
水島	0	坂本	0
PT	（1）12	PT	16（3）

（審・藤本、狩野）

前半から日体は全日本プレーヤー池之上にボールを集め、高い打点からのシュートで着々と加点、豊富なサウスポーを次々とくり出してバックパスをつなぐローリング攻撃が成功、日大のディフェンスに対し常に先手をとっていた。

日大は、優勝を意識しすぎたかセットプレーに固執、速攻機を自からつぶしてしまった感じ。後半に入って、中央攻撃で本来の姿を見せはじめたが、前半の4点差をとりかえすまでに至らなかった。主砲新井田がマークされて得点のなかったのも痛かった。日体の守り勝ちといえるだろう。

日体は16点のうち池之上が11点をもぎとる活躍。GK井藤の好守も光っていた。

一宮昌平・日体大男子監督の話

「点の取り合いになればイケルと思っていた。日大は新井田君をマークすればモロイ面があるので勝算はあった。京産大に勝って勢いづいたのが大きかった。」

男女ベストセブン

全日本学連は最終日、優秀選手を選考し閉会式の中で表彰した。氏名は次のとおり。

▼男子・GK大畑孝広・FP新井田司（以上日大）池之上孝司、松井幸嗣（以上日体大）高橋良輔（名城大）島中明（大体大）生駒靖夫（京都産大）

▼女子・GK横田由美子・FP甲斐恵子、川波理子（以上東女体大）藤井日出子、森典子（以上日体大）松下郷美（中京女大）今井晴美（武庫川女大）

男子で生駒、高橋、女子で甲斐、藤井は二年連続。

日女体、武庫女を敗る

▼女子一回戦・市立中央体育館

筑波大（関東）17（8－4, 9－4）8 中京大（東海）

成蹊女短（関西）23（11－3, 12－5）8 福岡教大（九州）

大阪体大（関西）17（10－3, 7－8）11 東学大（関西）

日女体大（関東）11（5－5, 4－4, 0－0, 2－1）10 武庫女大（関西）

2－5とリードされた前半残り5分に日女体は山田のシュートにはじまって3点連取し同点とし、後半も一進一退の好ゲームとなり延長戦にもつれこんだ。ここで、武庫女は日女体にボールをキープされて焦り、守りのミスが出てあと一歩に泣いた。武庫女は日女体にこのところ連勝していることもあって一種の油断があったのかも知れない。が、日女体が除々に力をつけてきていることも事実だったのである。

中京女大（東海）11（5－6, 6－0）6 大阪教大（関西）

九州女大（九州）13（5－6, 8－3）9 岐阜大（東海）

東女体大（関東）28（11－2, 17－0）2 京都教大（関西）

Create Your New World with ACCORD

ACCORDとは「調和」「一致」です。
機能重視、人間尊重、そして環境保持。
こうしたテーマを高い次元で調和させました。
多用途・多目的に余裕をもって活用できる機能と
乗る人の心情に深くマッチした
快適さの実現です。
大人の感覚で磨きあげた車。
あなた自身の新しい世界を創造する車。
それがホンダ・アコードです。

ゆとりと調和のアダルト・カー

ACCORD®

CVCC

型式B-SJ・全長4.125m(EX・LX・GL)・全幅1.620m・全高1.340m・軸距2.380m・輪距 前1.400m後1.390m・CVCC水冷4サイクル直列4気筒OHC・総排気量1,599cc・最高出力80ps/5,300rpm・最大トルク12.3kg-m/3,000rpm・燃費21km/ℓ(5速ミッション車60km/h定地走行テスト値)・10モード燃費10.5km/ℓ(運輸省審査値)・四輪ストラット方式独立懸架●51年排出ガス規制適合車。

HONDA®
●シートベルトを締めましょう

本田技研工業㈱鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎〈0593〉78-1212 〒513

東女・日体10度目の激突

筑波、予想外の大敗

▽同準々決勝・同

日体大 19（8－4 11－1）5 筑波大

大阪体大 11（5－3 6－3）6 成蹊女短

中京女大 10（3－7 7－2）9 日女体大

東女体大 31（16－3 15－5）8 九州女大

二強が順当に決勝へ

▽同準決勝・東淀川体育館

日体大 19（9－3 10－4）7 大阪体大

【大体】	得		【日体】	得
柴田	0	GK	大森	0
		GK	堀田	0
松本	1	FP	藤井	7
中津	0	FP	寺尾	2
大竹	1	FP	森	4
加藤	2	FP	坂村	1
野村	0	FP	新原	0
藤井	0	FP	源	1
浅井	0	FP	梅山	2
田辺	1	FP	戸栗	1
福田	2	FP	矢野	1
中里	0	FP	鈴木	0
7	（0）	PT	（4）	19

（審・新村、光島）

勝敗は基礎技能の差がはっきりと出た。正確なパスワーク、正確なシュートが大体大には欠けていた。前半、日体大は藤井を中心としての攻撃でそつなく9点をもぎとった。それに反して大体大は中心になるべき選手がなく苦戦を強いられた。ただ、その中でも光っていたのは福田の活躍であった。個人技能と集団技能に優る日体大の順当な勝利といえた。

東女体大 14（6－3 8－2）5 中京女大

【中女】	得		【東女】	得
森下	0	GK	横田	0
多田	0	GK	馬場崎	0
立川	0	FP	甲斐	0
太田	1	FP	古賀	0
青木麻	0	FP	磯山	8
鈴木	1	FP	川波	3
松下	2	FP	酒井	0
萬野	0	FP	村田	0
山田	0	FP	石橋	1
木野村	1	FP	藤本	2
青木洋	0	FP	坂本	0
西堂	0	FP	浜村	0
5	（1）	PT	（5）	14

（審・狩野、藤本）

先取点は中京女大が相手GKからのリバウンドボールをトスアップシュートで決めたが10分過ぎから東女体大はフリースローライン付近へ走り込むジャンプシュートミドルシュートが決まりはじめ、セットオフェンスによりボールをサイドへ回す戦術も実を結び攻守にその走力とシュート力に安定したものを見せた。ただ東女体大はこの試合エンジンのかかりが遅くはじめの10分の立ちあがりの悪さは中京女大につけ込むスキを与えるかにさえ見えた。中京女大はロングヒッターの不足に泣いた。

3位に中京女が初

▽三位決定戦・同

中京女大 8（6－3 2－1）4 大阪体大

【大体】	得		【中女】	得
柴田	0	GK	森下	0
		GK	多田	0
松本	0	FP	立川	1
中津	0	FP	太田	1
大竹	0	FP	青木	0
加藤	0	FP	鈴木	2
野村	0	FP	松下	3
浅井	1	FP	萬野	1
岡田	0	FP	山田	0
田辺	0	FP	木野村	0
福田	1	FP	青山	0
中里	2	FP	西堂	0
4	（2）	PT	（1）	8

（審・浜野、北山）

両チームともディフェンスが固く、左右にゆさぶろうとするが、得点に結びつかずPTの取り合いとなった。大体大のパスミスから中京女がチャンスを作り、後半もよく働き、勝利に結びつけた。

（井上慎也）

日体大追いつけず

▽同決勝・同

東女体大 13（9－6 4－6）12 日体大

立ちあがりから、東女体ペースで試合はすすみ10分に5－1とした。日体は固さが見られパスミスやシュートミスが多く、前半3点差をつけられて折り返した。後半に入って立ち直った日体は速攻、セットと多彩な攻撃を見せはじめたが、最後1点差に追いつくPTを得た時はタイムキーパーが立ち上がったあとであった。東女体は終始、磯山、川波の動きが光っていた。

【日体】	得		【東女】	得
大森	0	GK	横田	0
堀田	0	GK	馬場崎	0
藤井	4	FP	甲斐	2
寺尾	2	FP	古賀	0
森	3	FP	磯山	7
坂村	2	FP	川波	1
新原	0	FP	酒井	0
源	0	FP	村田	3
梅山	0	FP	石橋	0
戸栗	1	FP	藤本	0
矢野	1	FP	坂本	0
鈴木	0	FP	浜村	0
12	（3）	PT	（3）	13

（審・新村、光島）

高野亮・東女体大監督の話

「選手ひとり一人が努力してきた成果が出たと思う。選手にごくろうさんといいたい。本当にうれしい勝利でした。」

来年のICは東京

全日本学連全国役員会は大阪で開かれ、来年の第21回（女子第14回）全日本学生選手権を12月5日から9日まで東京体育館で開くことに決めた。

東西対抗（9月）は名古屋で開かれることになった。

なお、全日本総合は女子の世界選手権が11月27日から12月8日まで開催されるため、年が明けた54年1月に行われる見込みである。

歴代優勝校

回	年	優勝校	〔女子〕
①	昭33	芝浦工大	
②		芝浦工大	
③		芝浦工大	
④		芝浦工大	
⑤		芝浦工大	
		～以上11人制～	
⑥	昭38	立教	
⑦		芝浦工大	
⑧	昭40	芝浦工大	①日体
⑨		芝浦工大	②日体
⑩		立教	③日体
⑪		日体	④日体
⑫		日体	⑤東女体
⑬		日体	⑥日体
⑭		日体	⑦日体
⑮		日体	⑧日体
⑯		法政	⑨日体
⑰		早稲田	⑩日体
⑱		中央	⑪東女体
⑲		中央	⑫日体
⑳	昭52	日体	⑬東女体

女子決勝得点経過（太字PT）

前半
- 東女体大：磯山、村田、磯山、村田、甲斐、磯山、磯山、甲斐、村田
- 日体大：矢野、坂村、藤井、坂村、寺尾、森

後半
- 東女体大：磯山、磯山、磯山、川波
- 日体大：寺尾、藤井、藤井、森、戸栗、藤井

プレス・ルーム ＜5＞

小山　敏昭
——共同通信社運動部—

新聞登場に期待

ハンドボール界に新しい新聞が登場した。月に二度の発行で、新聞とはいってもまだ週刊誌的な感じが強いが、ハンドボール愛好者にとってはなによりもうれしい出来事といえよう。

現在体協加盟の各競技団体を見ても協会発行の機関誌（紙）のほかに一般業者が発行する雑誌新聞のあるところは日本のビッグスポーツ、人気スポーツ団体が多い。例えば陸上、サッカー、バレーボール、バスケットボールなどがそうだ。

となると新聞を持ったハンドボールも人気スポーツの仲間入りをしたわけである。すばらしいことだ。

だが今後は二つのニュースメディアを持ったハンドボール界はその根本理念たる『日本ハンドボールの普及発展』のためこのメディアをフルに活用してゆかねばならないだろう。責任はまた重い。

もっとリーグ情報を

日本リーグも終盤戦を迎え、男子は二強の湧永薬品と大同特殊鋼が、女子はジャスコ、日本ビクター、立石電機、ブラザー工業の四チームが入り乱れて大混戦となっている。こうした熱戦のわりにどうも新聞の報道が小さすぎて残念でならない。私たち報道陣は出来れば担当種目については大きく扱われるよう努力はしている。だがどうもハンドボールはニュースの材料がなさすぎる。既にこのスペースをお借りして書いたが、私たち記者が取材に行ける範囲（地域）での試合が少ないことだ。そのためどうしても大会運営本部から入ってくる情報を待っているのだがこれも記者説明会であったほど詳しくなく、ただ『○○チームが○対○で勝ちました』といった程度なかなか試合の内容までは説明がない。これからリーグも詰まってますます盛り上がってくるはず。是非リーグ関係者にお願いしたいのだが、『もっと情報を！』

頂点と底辺は裏返し

台北でのアジア予選を勝ち抜き全日本男子の世界選手権出場が決まった。相手が相手だっただけに予選を勝つのは当然だが、これからの本番は文字通り世界のトップクラスばかり。是非協会あげてバックアップし、好成績を残すようがんばって欲しい。

ひとつの目的達成を図るとき、長期的な展望の上に立って計画を立てる方式と、短期的な計画との二方式がある。この両方式をうまく平行してやってゆくことが理想的だが、なかなか現実には難しいある時期には長期的になり、ある時期には短期的な視点に立ってしまう。

ところで日本協会にとっての目的達成とはもちろん『世界一になり、オリンピックで金メダルを獲得すること』である。

そのため長期的な計画ではこれからの全日本を背負うような若手有望選手を育成すること、そして底辺を拡大することなどが必要である。

一方短期的な計画でいえば当面の世界大会で徐々に好成績を残し実績をひとつひとつ作っていくことである。

今回の世界選手権（デンマーク）には十六カ国が参加する。昨年のモントリオール・オリンピックで9位に甘んじた日本にとっては、今度は絶対に前回の成績を下回ってはならない。

かつての世界選手権は『参加することに意義があった』だがいまや『入賞すること』に日本の立場も変わりつつあると思うし、あらねばならないはずだ。

にわとりと卵の関係ではないが全日本が強くなればなるほど若い人たちもハンドボールに情熱を向けるだろうし、底辺も広がってくるだろう。長期的な計画も短期的な計画が施行されてこそ始めて意味を持ってくる。日本ハンドボール界発展のためにも世界選手権での全日本の活躍を期待したい。

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

美津濃 adidas 特約店

昌永スポーツ

甲府市中央四丁目桜りアーケード街

高級帯地

一秀

京都市上京区堀川通今出川下ル西側
西陣産業会館内
TEL (075) 431—0147

京都染色資材株式会社

出野勝志

京都市中京区壬生大竹町54
TEL (075) 811—5531

スプリンター・スターレットの

トヨタオートヤサカ株式会社

本社 京都市中京区壬生仙念町5番地
TEL (075) 802—0151(大代表)

全道一を誇るスポーツ用品専門店

(株) スポーツハウス

釧路営業所 釧路市北大通10丁目
(23) —1526

松の寿司

植田和子

(清水市立商業高等学校ハンドボール部3年生)
清水市銀座1番3号 TEL66—3063

塩山病院

山梨県塩山市上於曽

株式会社 **加藤組**

代表取締役 加藤憲

函館市千才町3—2

鳥のデパート<鳥料理>

たぐち会館

田口欽一(旧姓 湯山)
(昭45日本体育大学ハンドボール部卒業)
静岡県清水市銀座12番12号

ソニービデオとトリニトロンカラーの専門店

寿電化サービス

代表者 川口攻

山梨県甲府市宝2丁目27—14
電話 0552—26—0319

技術と経験で奉仕する店

望月スポーツ

釧路市錦町5—1 電(23)—7255
支店くしろデパートスポーツコーナー 電(24—4721

たのしく学ぶ 明るい学園
学校法人 花園学園

梅花幼稚園

静岡県清水市南岡町3—8

地場産業に貢献する

奥山不動産

代表取締役 奥山仙治郎

甲府市丸の内2丁目14—3
電話(0552)24—3265・5698

株式会社 **松本組**

取締役社長 松本演之

本社 函館市吉川町4番30号
札幌支店 札幌市北区37条西4丁目安田ビル5F

茂津目精肉店

茂津目勝仁

(静岡県清水商高男子ハンドボール部父母の会顧問)
静岡県清水市桜ケ丘54 TEL0543—52—1951

上田茂行

山梨県ハンドボール協会

会長 植野保

山梨県ハンドボール協会

副会長 天川正次

能登・和倉温泉

政府登録 国際観光旅館 **加賀屋**

石川県七尾市和倉温泉・TEL大代表(076762)2111

株式会社 **函館小型運送**

本社営業所 函館市西桔梗町589番地
(流通センター内)
電話(0138)代表49—5131
札幌連絡所 札幌市白石区菊水元町73
電話 (011) 861—8178

フリースロー〈編集委員会論壇〉

全国いたるところにゴールポストを

学校の中で生まれ学校から一歩も外へ出なかったハンドボールが実業団チームを、社会人クラブチームを生み出し今や定着しつつある。慶大と日本協会が40周年を迎えた。人間でいえばそろそろ子供たちが一人前になる頃である。しかし日本のハンドボールは子供たちを放置してきた。これからはじっくりと中学以下の幼年層へのハンドボールを育てることに関係者は意と力を注ぐべき時ではなかろうか

日本では、幸か不幸か各種の競技がひしめき合っているため競争はきびしい。おくれてスタートしたハンドボールは歴史的にもポピュラリティーの面でも丁度中間的な地位にある。特殊性から一般性へ脱皮の陣痛期にある。このスポーツの性質上、また日本の気候的背景からも十分一般性の期待がもてるスポーツだろう。少年に人気の出ないスポーツは発展しない。少年たちの人気を得つつ早く各種競技の中で不動の地位を築きたい。

私は前から一つの夢をもっている。狭い空間の利用が可能なハンドボールの特殊性を生かして全国いたる所にあの象徴的な赤白まだらのゴールポストを置く運動を展開することである。学校はもとより公園にも、遊閑の空地にもビルの屋上にも、果ては船の甲板上にも。そしていつでもどこでもハンドボールのシュートにうち興じる姿は愉快ではないか。

こうすれば、やがてはハンドボールのOB、OGたちもいくつになってもゴールから遠ざからないだろう。目にふれる機会が多くなれば幼ない子供たちもあのゴールは何に使うのかを実体験できるのである。子供向き、老人向き？にボールや用具の改良をし、ルールも簡素化したミニハンドボールを一部関係者が考案中と聞くが、ぜひ早く世に出し実施する中で改良を進めて行きたい。子供たちのドッジボールがやや衰退してきた。

ドッジボールのハンドボール化などいかがなものだろう。外国でやっていないということは少しも気にすることはない。日本で考案したボールゲームを逆輸出するくらいの意気込みがほしい。こわい痛そうが先に立つハンドボールでは少年はとびつかない。最近の少年はひ弱なのだからキーパーにはマスクと防具をつけてやればカッコもいいから少年たちの人気を博するだろう。私は成人のキーパーでさえ防具必要論者なのだが――

とにかく子供が夢中でやる事には親や教師が注目し、ひいては社会一般が興味をもつようになる。

（久田　暁）

松ヤニはゲームの心需品だろうか？

近年になって〝松マニ〟の使用により、ハンドボールゲームにおけるパスワークまた特にシュートの多彩化に一大飛躍を成し遂げたといっても決っして過言ではない程に選手の間で〝松ヤニ〟の使用が普及している。しかしながらこのことはあくまでも室内ゲームに関して、さらにゲーム会場側の、

〝松ヤニ〟の公認により、その会場でのゲームも一段と面白味のある展開となってくるのである。また使用する選手側が〝松ヤニ〟慣れしたこともそれに起因する。このハンドボールゲーム必需品である〝松ヤニ〟使用が認められない会場では……。実にハンドリングにおけるパスやキャッチのミスなどの通常のチームでは考えられないゲーム展開となり、したがって肝心のシュートは豪快さに欠け観る側にとって何んとも物足りないものになっている。確かに

〝松ヤニ〟を使用した後の新設された会場の床面は、汚れがひどく特に上ニス加工された木製の床面などは、非常に落すのに困難となり、また木膚の美を損ねる結果となる。

「松ヤニ使用が駄目では、自分のプレーが半減してしまう。」

この感覚は、選手自身の心構えや普段の練習過程にも問題点はあると思われるが、ゲーム運営側でも会場が使用を認めない場合でのゲームには、なるべく新品のボールはさけて、競技規則に適合した使用済みの大会球を扱うことを望みます。

ビッグイベントを観ようとつめかけたファンの前で国内有数のチームがポロポロやったり、シュートもいつもと違って迫力に欠けていたならば、ファンはきっと不安？な気持で観戦せざるをえないでしょう。

しかしながら〝松ヤニ〟の付け過ぎによる、床を転がったボールがベチャベチャ音を立てているのも良くはないですね。

（小松原保彦）

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

関東学生秋季リーグ戦

◇男子1部

早稲田 22（12―6、10―4）10 国士館
筑波 25（14―11、11―10）21 日体
日大 20（13―6、7―13）19 慶応
中央 25（11―10、14―7）17 法政
法政 20（8―12、12―6）18 日大
筑波 24（11―8、13―2）10 国士館
中央 23（15―1、8―1）2 慶応
早稲田 24（14―12、10―8）20 日体
慶応 24（10―9、14―13）22 早稲田
日体 26（13―9、13―7）16 中央
法政 12（3―5、9―7）12 筑波
引き分け
日大 24（8―10、16―6）16 国士館
中央 21（11―6、10―5）11 国士館
早稲田 22（13―11、9―11）22 法政
引き分け
筑波 19（9―8、10―8）16 慶応
日大 23（11―11、12―12）23 日体
引き分け
慶応 30（16―12、14―10）22 日体

法政 23（14―8、9―10）18 国士館
中央 19（8―3、11―6）9 早稲田
日大 20（12―2、8―10）12 筑波
日大 23（13―11、10―4）15 早稲田
日体 24（11―11、13―9）20 法政
慶応 22（13―8、9―8）16 国士館
筑波 16（8―6、8―7）13 中央

得	【筑波】			【中央】	得
0	須波	GK	GK	小松	0
0	酒井	GK	GK	岩木	0
2	若田	FP	FP	大久保	0
1	小西	FP	FP	福田	1
0	松浦	FP	FP	由利	2
3	白井	FP	FP	長野	0
4	小山	FP	FP	和智	5
0	堀越	FP	FP	新谷	3
0	河野	FP	FP	植木	2
3	秀永	FP	FP	加藤	0
3	滝口	FP	FP	高山	0
0	佐々木	FP	FP	佐藤	0
16	（1）	PT	PT	（2）	13

日体 26（11―6、15―6）12 国士館
法政 18（12―10、6―8）18 慶応
引き分け
中央 21（12―8、9―10）18 日大
筑波 18（11―6、7―11）17 早稲田

【順位】①筑波5勝1分1敗＝昭和23年秋季（文理大時代）以来4度目の優勝②中央5勝2敗③日大4勝1分2敗④日体・慶応3勝3敗⑥法政2勝3敗2分⑦早稲田2勝1分4敗⑧国士館7敗

【ベストセブン】▽GK 須波（筑波）▽FP小西（筑波）、由利（中央）、新井田（日大）、勝地（慶応）、松井（日体）、北里（早稲田）

【得点王】池ノ上孝司（日体）55点

◇同2部

防衛大 19―16 明治
明星 19―9 立教
明治 11―8 青山学院
東海 24―13 防衛大
順天堂 17―9 学芸
東海 22―6 青山学院
順天堂 27―10 立教
順天堂 23―6 青山学院
明治 20―11 立教
学芸 15―13 東海
防衛大 19―8 明星
明治 22―11 学芸
青山学院 14―13 立教
明星 16―15 青山学院
東海 18―9 立教
順天堂 27―13 防衛大
順天堂 25―17 明治
東海 18―14 明星
防衛大 22―20 学芸
学芸 20―11 明星
明治 18―13 明星
東海 14―13 順天堂
立教 19―11 防衛大
学芸 21―11 青山学院
防衛大 24―21 青山学院
学芸 16―11 立教
順天堂 32―9 明星
東海 16―10 明治

【順位】①順天堂6勝1敗（得失点差86）②東海6勝1敗（46）③明治・東京学芸・防衛大4勝3敗⑥明星2勝5敗⑦立教1勝6敗（マイナス43）⑧青山学院1勝6敗（マイナス50）▽得点王 岩尾幸市（順天堂）52点

横浜商大が全勝で

【3部順位】①横浜商科大7戦全勝②関東学院6勝1敗③駒沢5勝2敗④茨城大3勝4敗⑤専修2勝1分4敗⑥東京工大1勝2分4敗⑦東大1勝1分5敗⑧芝浦工大1勝6敗 ▽得点王 朱膳寺義行（関東学院）59点

【4部順位】①一橋6勝1分②大東文化6勝1敗③東洋4勝1分2敗④武蔵工大4勝3敗⑤上智・千葉大2勝5敗⑦千葉工大2勝5敗⑧東京経大1勝6敗 ▽得点王 棚橋伸男（大東文化）58点

【5部順位】①東京理科大6勝1分②神奈川大5勝1分1敗③都留文化4勝1分2敗④横浜市大・埼玉大4勝3敗⑥千葉商科大1勝1分5敗⑦武蔵3分4敗⑧日本工大1分6敗 ▽得点王 伊庭明（埼玉大）

【6部順位】①横浜国大②東京農大③都立大④拓殖⑤独協⑥明治学院⑦創価⑧東京工芸⑨和光⑩成蹊⑪亜細亜 ▽得点王 小西徳和（横浜国大）、岡野（東農大）。

横浜商大が2部へ

◇入れ替え戦

▽4～5部
東京経大④ 25―9 東京理大⑤
千葉工大④ 11―10 神奈川大⑤

▽3～4部
芝浦工大③ 22―16 一橋④
東大③ 15―9 大東文化④

▽2～3部
立教② 16―9 関東学院③
横浜商大③ 17―15 青山学院②

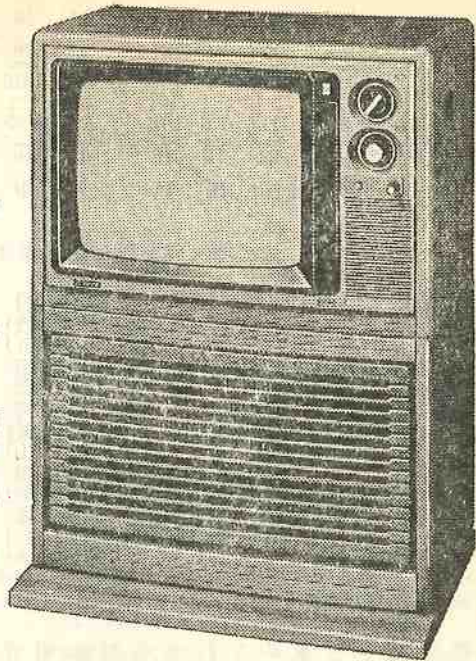
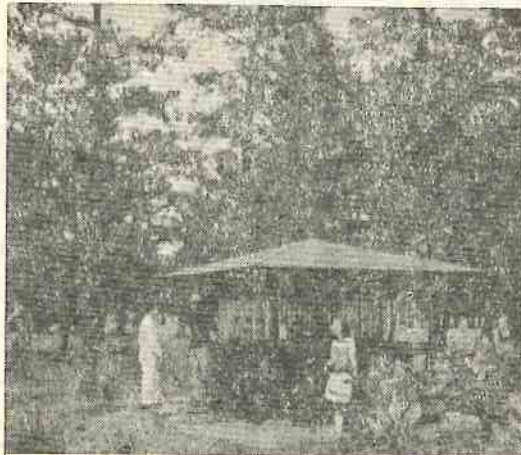
▽1～2部
国士館① 16―15 順天堂②
早稲田① 20―16 東海②

関東学連が欧州遠征

関東学生連盟は来春、男女選抜チームをヨーロッパへおくることを決めた。日程は二月二十五日から三月十日までで、西ドイツのフランクフルト、ハンブルグ。またフランスにも立寄る予定で、主にクラブチームと練習や生活を共にしながら、男子10試合、女子5試合をこなす予定である。

費用は個人負担で40万円、一部から6部までの若手選手に呼びかけセレクションを行なう。

3・4年生の選手は理事会が選考する。

役員、選手団の発表は十二月五日。総勢三十五名前後になる見込みで、成果が期待されている。

関西学生秋季リーグ

◇男子1部

京都産大 20（10-8、10-7）15 関大
同志社大 18（10-10、8-6）16 阪大
大阪体大 21（10-6、11-8）14 近大
京都産大 22（11-8、11-3）11 近大
大阪経大 21（14-5、7-4）9 阪大
同志社大 14（8-5、6-8）13 関大
大阪経大 16（8-6、8-5）11 近大
大阪体大 17（8-9、9-4）13 関大
京都産大 32（19-4、13-7）11 阪大
大阪体大 23（8-8、15-2）10 同志社大
阪大 13（3-10、10-3）13 関大
引き分け
京都産大 21（12-6、9-2）8 大阪経大

【経大】	得		【産大】	得
木村	0	GK	松村	0
山田	0	GK	石原	0
篠原	1	FP	北野	6
石田	1	FP	生駒	5
大村	0	FP	木村	0
川木	2	FP	日比	1
山野	0	FP	藤本	2
田中	0	FP	松井	1
加戸	0	FP	松山	0
覚間	4	FP	田中	6
林	0	FP	林	0
吉田	0	FP	木下	0
	8	（2）PT（1）		21

（審・福井、本田）

大阪体大 22（9-8、13-3）11 阪大
近大 21（13-10、8-7）17 同志社大
大阪経大 18（8-3、10-9）12 関大
近大 22（15-5、7-9）14 阪大
京都産大 21（11-5、10-7）12 同志社大
大阪経大 10（5-4、5-5）9 大阪体大
近大 25（13-7、12-4）11 関大
大阪経大 24（11-8、13-5）13 同志社大
京都産大 14（9-6、5-8）14 大阪体大
引き分け

【順位】①京都産大5勝1分＝2連勝②大阪経大5勝1敗③大阪体大4勝1分1敗④近大3勝3敗⑤同志社2勝4敗⑥関大1分5敗⑦阪大1分5敗
【得点王】覚間（大経大）34点

2部は京都教大勝つ

◇同2部

立命館 14-11 関学
神戸大 15-13 京大
大阪府大 14-12 大阪教大
大阪府大 19-10 関学
京都教大 18-12 京大
大阪教大 14-13 立命館
京大 20-18 大阪府大
神戸大 14-8 大阪教大
京都教大 17-13 関学
京都教大 19-12 立命館
関学 12-10 京大
大阪府大 18-13 神戸大
京都教大 10-8 大阪教大
京大 14-10 大阪教大
神戸大 21-15 立命館
大阪府大 15-12 京都教大
神戸大 18-15 関学
立命館 12-10 京大
京都教大 19-8 神戸大
関学 16-9 大阪教大
立命館 15-12 大阪府大

【順位】①京都教大5勝1敗②大阪府大4勝2敗③神大4勝2敗④立命館3勝3敗⑤関学2勝4敗⑥京大2勝4敗⑦大阪教大1勝5敗
【得点王】酒井（京都教大）47点

◇同3部

桃山学院 18-15 大阪工大
大阪工大 16-14 追手門学院
甲南 23-21 桃山学院
関西外語大 13-11 大阪市大
桃山学院 17-13 天理
甲南 15（分）15 追手門学院
桃山学院 25-8 関西外語大
天理 21-8 大阪市大
大阪工大 15-14 甲南
関西外語大 17（分）17 追手門学院
桃山学院 25-9 大阪市大
天理 26-15 甲南
天理 17-13 大阪工大
大阪市大 12-11 甲南
桃山学院 15-14 追手門学院
天理 18-16 関西外語大
大阪市大 15（分）15 大阪工大
天理 23-6 追手門学院
甲南 24-13 関西外語大
追手門学院 21-11 大阪市大

【順位】①桃山学院5勝1敗②天理5勝1敗③甲南・大阪工大・関西外語大2勝1分3敗⑥追手門学院1勝2分3敗⑦大阪市大1勝1分4敗
【得点王】横田（追手門学院）41点

◇同4部

和歌山大 22-14 神戸商船
大阪薬大 37-14 大阪外語大
竜谷 25-10 神戸商船
和歌山大 23-17 大阪外語大
竜谷 21-16 大阪外語大
和歌山大 17（分）17 大阪薬大
和歌山大 18-9 竜谷
大阪薬大 29-12 神戸商船
大阪外語大 16-12 神戸商船
竜谷 14（分）14 大阪薬大

【順位】①和歌山大3勝1分②大阪薬大2勝2分③竜谷2勝1分1敗④大阪外語大1勝3敗⑤神戸商船4敗

◇同5部

京都工繊 20-10 大阪歯大
京都工繊 16-13 滋賀大
奈良教大 23-11 滋賀大
京都外語大 37-11 姫路工大
京都外語大 25-6 大阪歯大
奈良教大 20-15 姫路工大
京都工繊大 23-19 姫路工大
京都外語大 15-14 奈良教大
滋賀大 棄権 大阪歯大
大阪歯大 19-16 姫路工大
京都工繊大 19-10 奈良教大
京都外語大 21-16 滋賀大
滋賀大 18-11 姫路工大
奈良教大 20-11 大阪歯大
京都外語大 16（分）16 京都工繊大

【順位】①京都外語大4勝1分②京都工繊大4勝1分③奈良教大3勝2敗④滋賀大2勝3敗⑤大阪歯大1勝4敗⑥姫路工大5敗
【得点王】竹田（京都工繊大）37点

桃山学院が2部へ

◇入れ替え戦

▽4〜5部
大阪外語大④ 17-17 京都工繊大⑤
神戸商船④ 13-11 京都外語大⑤

▽3〜4部
大阪薬大④ 20-10 追手門学院③
和歌山大④ 25-10 大阪市大③

▽2〜3部
京大② 16-15 天理③
桃山学院③ 19-15 大阪教大②

▽1〜2部
関大① 13-7 大阪府大②
阪大① 17-11 京都教大②

○……当機関誌ハンドボールでは、来年2月号を協会創立40周年記念特集号とする予定です。40周年に当たって御意見、御感想などございましたら御投稿ください。（編集委員会）

あなたと明日を

地方学生秋季リーグ

北海道

◇男子Aブロック
北見工大18－4北海道工大
釧路教大11－5旭川教大
釧路教大7－6北海道工大
北見工大7－6旭川教大
旭川教大15－8北海道工大
北見工大11－8釧路教大

▽同Bブロック
北星学園10－8小樽商大
北大17－4北海学園
北海学園15－11北星学園
北大18－10小樽商大
北大24－13北星学園
北海学園15－7小樽商大

▽5～8位決定リーグ
旭川教大14（6－3、8－3）6小樽商大
北星学園13（5－4、8－4）8北海道工大
小樽商大9（5－6、4－2）8北海道工大
北星学園11（5－6、6－4）10旭川教大
北海道工大×旭川教大、北星学園×小樽商大はブロック戦の記録を適用
【順位】⑤北星学園⑥旭川教大⑦小樽商大⑧北海道工大

▽決勝リーグ
釧路教大11（6－3、5－7）10北海学園
北大22（12－3、10－2）5北見工大
北見工大17（4－4、13－5）9北海学園
北大12（4－3、8－6）9釧路教大
北大×北海学園、釧路教大×北見工大はブロック戦の記録を適用
【順位】①北大3戦全勝②北見工大2勝1敗③釧路教大1勝2敗④北海学園3敗
【個人賞】▽最優秀選手　芝野隆（北大）▽得点王　川端克宏（北大）27点▽優秀GK　青木陽一（北見工大）

東海

◇男子1部
中京35（18－4、17－0）4愛大豊橋
名大16（9－5、7－6）11岐大
名城38（19－7、19－6）13愛大豊橋
中京25（9－8、16－7）15愛知教大
岐阜大11（8－3、3－7）10愛知教大
中京26（18－2、8－4）6名大
名城30（16－3、14－3）6愛知教大
名城27（13－1、14－6）7名大
中京26（13－6、13－5）11岐阜大
愛知教大23（11－5、12－17）22愛大豊橋
名大26（13－9、13－10）19愛大豊橋
名城31（14－2、17－7）9岐阜大
愛大豊橋16（11－5、5－9）14岐阜大
愛知教大16（7－8、9－6）14名大
中京16（11－6、5－9）15名城

得	【中京】			【名城】	得
0	原	GK	GK	松井	0
0	上村	GK	GK	松倉	0
2	宮尾	FP	FP	高橋	4
2	中野	FP	FP	西浜	0
0	西山	FP	FP	山下	0
0	吉本	FP	FP	谷元	2
0	森谷	FP	FP	鈴木康	3
3	福井	FP	FP	鈴木輝	1
1	林	FP	FP	安藤	5
0	坂口	FP	FP	江崎	0
8	駒田	FP	FP	榊原	0
0	村田	FP	FP	瀬島	0
16	（1）	PT	PT	（1）	15

（審・笹野、松井）

【順位】①中京5戦全勝＝4シーズンぶり30度目の優勝②名城4勝1敗③名大2勝3敗④愛知教大2勝3敗⑤岐阜大1勝4敗⑥愛大豊橋1勝4敗

北信越

◇男子Aブロック
金沢大22－9信州大
金沢大15－13金沢工大
金沢工大27－10信州大

▽同Bブロック
福井大23－8金沢医大
富山大16－6福井大
富山大32－13金沢医大
富山大34－1金沢美工大
金沢医大28－10金沢美工大
福井大23－9金沢美大

▽同5～6位決定戦
信州大27（11－7、16－5）12金沢医大

▽同3～4位決定戦
金沢工大16（8－4、8－7）11福井大

▽同首位決定戦
金沢大20（11－7、9－7）14富山大

得	【金沢】			【富山】	得
0	酒井	GK	GK	広瀬	0
0	朝瀬	GK	GK	山村	0
3	谷内口	FP	FP	森本	2
2	鈴木	FP	FP	角地	0
6	金井	FP	FP	舟見	0
1	芝	FP	FP	藤井	4
0	福島	FP	FP	竹内	1
3	池村	FP	FP	船木	2
5	杉原	FP	FP	坂本	3
0	川原	FP	FP	中野	0
0	伊藤	FP	FP	姫川	2
0	小島	FP	FP	朴木	0
20	（1）	PT	PT	（0）	14

（審・庄司、竹野）

中四国

広大福山20（8－4、12－2）6広島大
山口大22（10－6、12－6）12広島修道
山口大17（8－5、9－8）13広大
広大福山20（9－4、11－8）12愛媛大
広島修道15（5－7、10－6）13愛媛大
愛媛大16（9－4、7－6）10広島大
山口大15（4－8、11－2）10広大福山
広島修道25（8－3、17－8）11広島大
山口大22（11－1、11－3）4愛媛大
広大福山28（13－7、15－6）13広島修道
【順位】①山口大4勝②広島大福山3勝1敗③広島修道大2勝3敗④愛媛大1勝3敗⑤広島大4敗

各地女子学生リーグ

関東1部（2回戦制）

日体　18（10—5、8—1）6　学芸
日体　18（10—2、8—1）3　学芸
筑波　8（3—1、5—4）5　日女体大
筑波　13（9—8、4—3）11　日女体大
日体　15（5—5、10—4）9　日女体大
日体　15（8—4、7—5）9　日女体大
東女体大　15（11—2、4—3）5　学芸
東女体大　20（12—5、8—4）9　学芸
東女体大　12（7—2、5—2）4　筑波
筑波　11（6—3、5—6）9　東女体大
日女体大　18（8—5、10—2）7　学芸
日女体大　17（10—3、7—4）7　学芸
日体　13（5—4、8—6）10　東女体大
東女体大　12（5—2、7—5）7　日体
筑波　17（10—6、7—4）10　学芸
筑波　19（9—7、10—1）8　学芸
日体　11（4—3、7—5）8　筑波
筑波　9（5—3、4—3）6　日体
東女体大　12（6—1、6—0）1　日女体大
東女体大　12（5—3、7—4）7　日女体大

【順位】①東京女体大6勝2敗（得失点差45）＝3シーズンぶり6度目の優勝②日体(37)6勝2敗③筑波6勝2敗(17)④日女体大2勝6敗⑤東京学芸大8敗

【ベストセブン】▽GK横田（東女体）▽FP　甲斐、磯山、川波（以上東女体）、藤井、鈴木（以上日体）、森戸（筑波）

【個人最高得点】磯山久美子（東京女体大）38点

◇同2部

千葉明徳　11—4　青山学院
都留文化　29—2　法政
千葉明徳　13—9　茨城大
青山学院　10—2　学習院女短
千葉明徳　27—3　法政
都留文化　14—5　千葉大
青山学院　10—6　千葉大
法政　7—5　学習院女短
千葉明徳　15—8　都留文化
千葉大　6—2　学習院女短
青山学院　11—8　都留文化
千葉大　11—3　法政
青山学院　17—3　法政
茨城大　13—5　青山学院
都留文化　10—8　学習院女短
千葉明徳　10—3　千葉大
茨城大　8—6　都留文化
茨城大　14—7　千葉大

【順位】①千葉明徳短大6戦全勝②茨城大5勝1敗③青山学院4勝3敗④都留文化3勝4敗⑤千葉大2勝5敗⑥法政1勝5敗⑦学習院女短6敗

関西

大阪体大　16（11—6、5—4）10　成蹊女短
武庫川女　30（17—2、13—0）2　京都教大
武庫川女　20（11—0、9—1）1　大阪教大
大阪体大　28（13—1、15—3）4　京都教大
大阪体大　16（6—4、10—3）7　大阪教大
成蹊女短　13（7—7、6—2）9　京都教大
京都教大　12（7—3、5—5）8　大阪教大
武庫川女　19（10—4、9—5）9　成蹊女短
成蹊女短　13（8—8、5—2）10　大阪教大
武庫川女　14（6—4、8—4）8　大阪体大

【順位】①武庫川女大4戦全勝＝5シーズン連続7度目の優勝②大阪体大3勝1敗③成蹊女短2勝2敗④京都教大1勝3敗⑤大阪教大4敗

【個人最高得点】今井晴美（武庫川女）30点

◇同2部

滋賀大　9—8　奈良教大
和歌山大　11—5　奈良女大
大阪薬大　5—2　関大
滋賀大　11—4　奈良女大
奈良教大　9—7　関大
大阪薬大　9—6　和歌山大
奈良教大　12—7　和歌山大
大阪薬大　12—2　奈良女大
滋賀大　9—4　関大
滋賀大　13—7　和歌山大
大阪薬大　12—5　奈良教大
関大　11—7　奈良女大
滋賀大　10—7　大阪薬大
奈良教大　10—4　奈良女大
関大　10（分）10　和歌山大

【順位】①滋賀大5戦全勝②大阪薬大4勝1敗③奈良教大3勝2敗④関大1勝1分3敗⑤和歌山大1勝1分3敗⑥奈良女大5敗

東海

中京　23（12—0、11—2）2　南山
愛知教大　8（5—1、3—4）5　岐阜大
中京女　23（10—2、13—1）3　南山
岐阜大　9（8—0、1—1）1　南山
中京　21（11—4、10—5）9　愛知教大
中京女　11（5—3、6—0）3　愛知教大
中京　12（7—2、5—0）2　岐阜大
愛知教大　22（10—0、12—1）1　南山
中京女　15（7—1、8—1）2　岐阜大
中京女　9（4—5、5—3）8　中京

【順位】①中京女4戦全勝＝3シーズンぶり5度目の優勝②中京3勝1敗③愛知教大2勝2敗④岐阜大1勝3敗⑤南山4敗

北海道（2回戦制）

北教大釧路分校　7（3—0、4—2）2　北教大旭川分校
北教大釧路分校　11（4—7、7—0）7　北教大旭川分校

【順位】①北海道教育大釧路分校②北海道教育大旭川分校

中四国

山口大　13（5—2、8—1）3　広大福山
山口大　16（3—0、13—1）1　広島修道
岡山県短　7（4—2、3—1）3　岡山大
岡山県短　23（13—0、10—1）1　広島修道
岡山大　5（5—1、0—1）2　広大福山
岡山県短　6（2—1、4—4）5　広大福山
岡山大　19（9—0、10—2）2　広島修道
山口大　14（7—6、7—2）8　岡山県短
広大福山　19（7—0、12—2）2　広島修道
山口大　10（8—3、2—2）5　岡山大

【順位】①山口大4勝②岡山県短3勝1敗③岡山大2勝2敗④広島大福山1勝3敗⑤広島修道大4敗

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

◇岐阜県実業団ハンドボール連盟◇

役職	氏名	住所	所属
会長	清水晴次	大垣市中曽根町	日本耐酸壜工業取締役
副会長	柳瀬準一	岐阜市茜部中島	二和家具工業取締役
理事長	森島清明	大垣市中曽根町	日本耐酸壜工業
理事	隅田泰生	不破郡垂井町宮代	帝人製機岐阜工場
	新村　茂	岐阜市茜部中島	二和家具工業本店
	泉　文俊	安八郡安八町大森	三洋電機岐阜工場
	安武英巳	大垣市久徳町　239	太平洋工業
	浅野敏夫	大垣市中曽根町	日本耐酸壜工業
	高橋省吾	大垣市神田町	揖斐川電工本社

☆★☆★☆★☆
海外トピックス

——杉山茂——
（NHK運動部・慶大OB）

西ドイツ、幸先よい出足

世界選手権の顔ぶれが出揃って上位進出を狙う各国は、このところほとんど自国に閉じこもって、戦力を養っている感じ。あまり動きが伝わってこない。

11月末から12月末までの約一カ月、カルパチア・マウンテンカップ（ルーマニア）をはじめとする恒例のビッグトーナメートまで、しばし〝休火山〟のヨーロッパトップゾーンだ。

10月末に行われたリュブリアナ（ユーゴ）トーナメントは、唯一の情報。

4カ国のリーグ戦で行われ、西ドイツが3戦3勝して首位、世界選手権ホスト国のデンマークが2位となった。

地元ユーゴとチェコが、この両国に遅れをとり、東欧上位の近年まったく珍しい序列になった。

西ドイツのスパートは、注目に価するものがあり、今回の優勝で早くも世界選手権OKという声さえ一部にあがっていると伝えられる。

西ドイツ	20	（10—12、10—7）	19	チェコ
デンマーク	29	（14—13、15—14）	27	ユーゴ
西ドイツ	21	（10—7、11—10）	17	デンマーク
ユーゴ	30	（12—10、18—7）	17	チェコ
デンマーク	27	（13—9、14—14）	23	チェコ
西ドイツ	17	（9—7、8—9）	16	ユーゴ

【順位】①西ドイツ②デンマーク③ユーゴ④チェコ

ハンガリー、東独かわす

一方、女子は、世界選手権Bグループ戦（別掲）が近づき、小さな動きが目立つが、11月初めに開かれたブダペスト・トーナメントでは、やはり東欧勢が強味をみせている。

東ドイツ	23	—	11	オランダ
ハンガリー	26	—	12	フランス
フランス	15	—	14	オランダ
ハンガリー	14	—	11	東ドイツ
東ドイツ	23	—	6	フランス
ハンガリー		—		オランダ

【順位】①ハンガリー②東ドイツ③フランス④オランダ

ヨーロッパ4大会

恒例のヨーロッパカップ（男子第18回、女子第17回）、ウインナーズカップ（男子第3回、女子第2回）が一斉に幕をあけた。

各大会とも、まだ序盤戦だが、世界選手権に備え、二大強国・ソ連とルーマニアが、代表（それも女子まで）を送ってきていないのが、なんとも淋しい。

また、常連AクラスのvfL・グンメルスバッハ(西ドイツ)が、今年は、ウインナーズカップのほうにまわっているのも目を引く。

先シーズン、西ドイツ選手権をとりそこねヨーロッパカップへの出場ができなくなっていたのだ。

力をつけてきているといわれるスペイン勢(男子)は、ヨーロッパカップにカルピサ・アリカンテ、ウイナーズにFC・バルセロナを出場させており、注目される。

女子では、ルク・コルゾフ、AKS・コルゾフのポーランド勢が期待を集めているようだ。

11月末に2回戦が終る予定だがヨーロッパカップの男子でSC・マグデベルグ(東ドイツ)×パルチザン・ブジエロバル(ユーゴ)、同女子でラドニツキ・ベルグラード(ユーゴ)×SC・ブダペスト（ハンガリー）という優勝候補の対戦が早くも組まれてしまった。

日本の出場期待 オランダ国際

オランダ協会は、来年9月16、17の両日アムステルダムで、単独チームの男女国際トーナメントを計画。このほど、その大要を発表したが、ぜひとも日本チームの出場を期待していると伝えられる。

2日から世界女子Bグループ

男子につづいて新システムに踏み切った女子世界選手権初のBグループが、12月3日から10日まで西ドイツで開かれる。

参加国は14カ国で、モントリオールオリンピック上位3カ国（ソ連、東ドイツ、ハンガリー）とAグループ開催国(チェコ)以外のヨーロッパ各国がほとんど顔を揃えイギリスも初エントリーしている

4組の予選リーグのあと、ベストエイトによる準決勝リーグ、さらに順位決定戦という日程で、上位5カ国が、来年11月チェコでのAグループ出場権を握る。

ベストエイトは、ノルウェー、西ドイツ、ユーゴ、ブルガリア、ルーマニア、スウェーデン、ポーランド、デンマークとみられ、スペインがノルウェー、西ドイツのどちらかを食えるか、といったところ。

I・H・F審判委員長来日研修会から

第9回男子世界選手権アジア地区予選が台北市のスポーツセンターで行なわれその時のIHF代表と2名のレフェリーが帰路我が国に立寄り研修会が開催されるように努力された関係者に深く感謝をします。全国から集まった審判員40余名が出席して熱心な研修会が開かれました。その内容についてここに報告します。

審判委員会委員・岡前義春

渡辺和美氏（IHF理事）が招待

アジア予選の帰途に

第9回世界選手権アジア予選（台湾）を視察に訪れていたIHF審判委員長カール・E・ワング氏（ノルウェー協会会長）と同国際審判員H・ケスラー、O・メイヤー、同通訳M・ブラッシュ氏を、かねてから交友があり、同じく視察で台湾を訪れていた、IHFアジア担当理事、渡辺和美氏が、帰途を日本へ観光をかねて招待、日本審判関係者は時ならぬ多数の優秀な講師を迎えてその一日を審判研修会にさいてもらった。以下は岡前義春氏によるその報告である

よく走るレフェリー

10月22日、午後1時15分より、関東学連の協力を得て、リーグ戦の法政大対慶応大のゲームを、レフェリーのM・ケスラー。O・メイヤー（スイス）の両氏に担当してもらい、そのレフェリングを見学した。（新らしいルールで実施）

そのレフェリングを見学して感じたことを挙げてみよう。

○レフェリーのジェスチャーが非常に明確である。

○GRからCRになる場合、センターラインを越すまでよく走る。

○新ルールで警告のとき、黄色のカードを示す。

○プッシング（両手押し）は厳しく警告が与えられる。

○後半になると同系統の反則は警告なしで退場させる。

速度のあるゲームを

▼ワング氏の話

ハンドボールを愛する皆様方と競技規則についてディスカッションができるのは大変嬉しいと思います。新らしいルールについて話をして、その後皆様から質問を受けることにしたい。

現在のハンドボールでは、ヨーロッパ、アメリカ、アジアの各地区で国際的に理解された、速度のあるハンドボールを一層発展させることが必要である。ゲームのときに、チームの役員やプレイヤーが意識して行なったものであるかどうか判らないが、ゲーム中またハーフタイム中に秩序のない行動や文句を言ったりさせないようにするのがレフェリーであり、それを決して許さないようにレフェリーはすべきである。新らしいルールで警告を明確にするためにレフェリーは、黄色のカードを持って必要なときには、必らずそれを使用してほしい。これは、2年後には赤色のカードになるかも知れないけれども、それはともかくレフェリーは、礼儀とか秩序が乱れないようにすることが必要である。日本ではシーズン途中なので報告されていないようであるが今後発表されるであろう。

イエローカード実施

▼質疑応答

質問①最近国際試合において勝利のためにラフプレイが多くなっているがそれについてIHFではどのような考えであるか。

答・ルールの6―7で押す、はたく、なぐるなどは禁止されている。13―6、14―8では反則の度合によって警告、退場、追放させるようになっている。第一の目的はゴールにボールを入れることである。得点のあとでも警告は発するべきである。またコーチなど役員も黄色のカードを示した次は、退場とか追放があることを知っていなければならない。

例えば、フリースローのとき、ディフェンスが3mの距離をとらないときは口で離れるように言って、次に近づけば警告すべきである。ベンチでコーチが大きい声を出してはならない。静かに作戦の指示をすべきである。それはレフェリーの必要な役割を妨害することになる。したがってコートで禁止されていることを相互に理解していなければならない。

追放と失格は違う

質問②アジア地区予選（第9回世界選手権）で直接追放した時のことを説明してほしい。

> 17―18（disqutlitication）失格
> プレイヤーの補充はできる。
> 17―20（exclasion）追放
> プレイヤーの補充はできない

答・(イ)8人目のプレイヤーが入場して攻撃側のプレイヤーをなぐった場合は退場となり、その本人は失格となる。その場合他のプレイヤーを1人退場させる。2分間の退場のあとは交代することができる。

(ロ)追放は次のように使用されるタイムを止めないでレフェリーが追放した場合には、プレイヤーの補充はできない。タイムを止めたあとでプレイヤーがレフェリーに文句を言ったときは、追放されるが2分間の退場時間が終了すればプレイヤーの補充ができる。

レフェリーも人間である。肉もあるし、精神もある。プレイヤーも人間である。何も問題がなければゲームを中断することはない。問題があればいきなり追放することもあり得る。

タイムアウトはレフェリーに権限

質問③タイムアウトについて、プレイヤーがレフェリーにタイムアウトの要求をした状態がモントリオールで見られたが可能であるかどうか。

答、レフェリーのみがタイムアウトを決めることができる。したがって、キャプテンは質問することはできてもタイムアウトを要求することはできない。

レフェリーとオフィシャル

質問④アジア予選でオフィシャルから3回笛を吹いてゲームを中断したが何故か。

答・ベンチで何か問題が起きたとか、レフェリーに問題があればオフィシャルで笛を3回吹きゲームを中断して、レフェリーを集め説明を聞くことはある。アジア予選で追放が判定された。そのときゲームを中断してレフェリーの判

定の説明を聞いた。
質問⑤タイムアップは何時であるか。
答　タイムアップは、オフィシャルの笛で終了であるが1/10秒位の差のときは、レフェリーが笛を吹いて終了することもあり得る。
質問⑥レフェリーの笛の長短について、本日のレフェリーで反則のとき笛が長すぎて、ペナルティスローと間違えるようなことがあったがそれはどうか。
答　笛の長さについてルール上は何も規定されていない。長すぎたのはレフェリーの情熱であったろう。

熱気のうちに閉会

ゲームの見学からディスカッションまで4時間にわたって新らしいルールの解説と質疑応答を行ない、有意義な研修であった。ヨーロッパを中心に実施されるIHFの講習会に我が国から多くの審判員を派遣することは非常にむずかしいことを考える現在、このような機会を多くつくり、多くの審判員が、疑問点を明らかにしてルールの理解を深め、よき体験を得ることができたのは大変喜こばしいことである。このような機会をとらえて、我が国の審判技術が一層向上するよう希望して報告とします。

Rule 6 Approach to Opponent
It shall be permitted:

6 : 5　with one or both hands to snatch or vlolnetly to srtike the ball from the hands of an opponent (free-throw)

6 : 6　intentionally to throw the ball on an opponent or to move the ball towards him as a dangerous feint(freethrow; see, however, 6 : 10);

6 : 7　to obstruct an opponent with arms, hands or legs (freethrow; see, however, 6 : 10);

6 : 8　to catch hold of an opponent with one or both hands, in any way to handle him roughly by hitting, pushing, running into, jumping into, or tripping him up or by throwing oneself before him, or by endangering him in any other way (free-throw; see, however, 6:10; 13:6; 14:8; 17:13, 16).

6 : 9　to push or to force an opponent into the goal-area (free-throw; see, however, 6:10);

Rule 13 Free-Throw

13 : 6　The referees shall not award a free-throw against the defending team if an interruption of the game might be a disadvantage for the attacking team.
If the player of the attacking-team loses the control of the ball because of an infringement being committed by a player of the defending team, the referees shall award a free-throw at least.
If the player of the [attacking team keeps full control of the ball in spite of an infringement being committed by a player of the defending team, the referess shall not award a free-throw.

Rule 14 Penalty-Throw

14 : 7　While the penalty-throw is being taken, the goalkeeper may move in his goal-area as much as he likes; he shall, however, not be nearer to the thrower than 3 meters, i. e. he shall not in any way cross the line drawn in the goal-area (nor its projection on either side) (1:3) until the throw has been taken. It he infringes this rule, the penalty-throw shall be repeated if it did not result in a goal

14 : 8　The referees shall not award a penalty-throw if an interruption of the game might be a disavantage for the attacking team.
A penalty-throw shall always be awarded if by an infringement of a rule, a clear chance of scoring a goal is destroyed, i. e. if no goal is scored.
If the player of the attacking team keeps full control of the ball and his boody, in spite of an infringement being committed by a player of the defending team, the refrees shall not award a penalty throw.

Rule 17 The Referees
the Secretary, and the Timekeeper

17 : 17　The timekeeper shall notify the end of the time of suspension to the coach of the offender's team.

17 : 18　A disqualified player or official is excluded for the rest of the game and has to leave the substitutes' area; a disqualified player or official shall also leave the substitutes' area.
If a player is disqualifiled, his team may play with the same number of player on the playing-area and with the remaining substitutes. (Exception: 17:16; player sent off the ground a third time). The disqualification shall be notified directly to the faulty player, his coach, and the secretary,

17 : 19　If the goalkeeper is suspended or excluded, the substitute goalkeeper may take his place. In that case one of the court-players shall leave the court.

17 : 20　The excluded player may not resume play and may not be substituted. He shall leave the substitute's area.
In case of serious infringements, the player (s) may be excluded without being previously suspended.
The exclusion shall be directly notified to the faulty player, his coach, and the secretary.

(IHF. **Rules of the Game** より――編集委員会)

IHF中央審判講習会報告 ③

日本協会審判委員長　安藤純光

報告②で参加したレフェリーに課せられたペーパーテストの問題を報告した。今回はレフェリーのトレーニングプログラムと体力テストについて報告する。この体力テストも参加したレフェリー全員に課せられ採点された。

★レフェリーのトレーニングプログラム（A、B、C、D）

プログラムA（所要時間90分）

①全身のウォーミングアップ（10分）――ランニング、解緊運動

②特殊な運動（20分）――加速走（40m×4）、歩幅をかえて走る（40m×4）、サイドステップ走＝横走り(40m×4)、跳躍走（40m×4）、背面走＝うしろ向きに走る(40m×4)、往復走＝ターンダッシュ（60m×2）

（ただし各走法の間にそれぞれ1分の中休みをおく）

③体操（10分）――全身の解緊運動

④レフェリング（20分～30分）――ひとりでレフェリーをするときには、常にゴールレフェリーの位置にいるようにつとめる。

⑤反応運動（10分）――バスケットボールのゴールにボールを投げる。バックボードまたはリングに当たったボールは一度地面にバウンドさせて、あらためてゴールに投げる。ボールがゴールに入ったときには横にドリブルしてからゴールに投げる。

⑥整理運動（10分）――かるいジョック、かるい体操。

プログラムB（所要時間90分）

①全身のウォーミングアップ（10分）――ランニング、解緊運動、プレイしながらウォーミングアップを行なう。

②レフェリング（60分）――練習ゲームあるいは部分練習（a、b二種類の練習を紹介する）a、ゴールレフェリーとセンターレフェリーを10分毎に交互に行なう。（さまざまな走り方で充分に走れ）b、ふたりのレフェリーが一緒にトレーニングする場合には10分ずつ交代でゴールレフェリーの位置まで走ってレフェリーをする。休んでいる者はゲームの動きにつれて動き、体をあたためておく。

③特殊持久走＝スピード持久性（20分）――加速走(40m×2)、歩幅をかえて走る＝歩幅を一定にしないで(40m×2)、ダッシュ（20m×4）、ジョック（40m×4）、歩行（40m×2）

プログラムC（所要時間90分）

①全身のウォーミングアップ（10分）――かるい体操を行ないながらジョックする。

②スピード練習（20分）――加速走(40m×6)ダッシュ(20m×6)背面走＝一回ごとに歩いてもどる(20m×4)、ジョック(40m×4)

③体操（10分）――足の解緊運動

④レフェリング（30分）――練習ゲームのレフェリー（6対6の練習）

⑤反応運動（10分）――プログラムA参照。

⑥整理運動（10分）――各自で充分に行なう。

プログラムD（所要時間90分）

①全身のウォーミングアップ（10分）――歩行やジョックをしながら体を動かしアップする。

②特殊持久性（10分）――ジョック(40m×4)、加速走(40m×4)歩幅をかえて走る(40m×4)、サイドステップ走(40m×4)、跳躍走(40m×4)、背面走＝ターンダッシュ（60m×3）

（ただし各走法の間にそれぞれ3分の中休みをおく）

③全身の解緊運動（20分）――体操

④反応運動＝2分行なって30秒休む（15分）――プログラムA参照

⑤整理運動（15分）＝ジョックなどを行なう。

★レフェリーの体力テスト

テスト①（次頁図参照）1の位置からスタートし、2・3・4の順にマークのところまで走り6でゴールとなる。基準となる時間＝20～29才・15秒、30～39才・16秒、40才以上・17秒。

テスト② 1の位置からスタートし2から3へ、3から5のマークを廻って4、4から5でゴールとなる。20～29才・16秒、30～39才・17秒、40才以上・18秒。

テスト③ 1の位置からスタートし、2・3・4と順にマークのところまで走り8でゴールとなる（60m＝6＋6＋9＋3＋14＋11＋11m）20～29才・18秒、30～39才・19秒、40才以上・20秒。

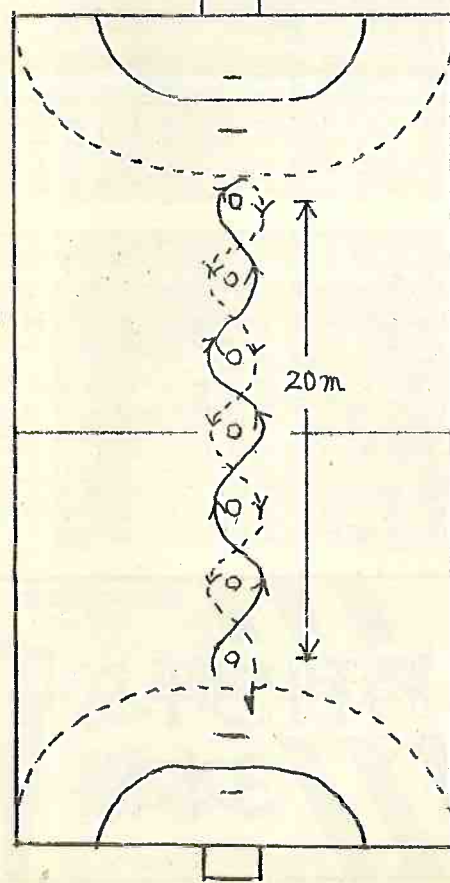
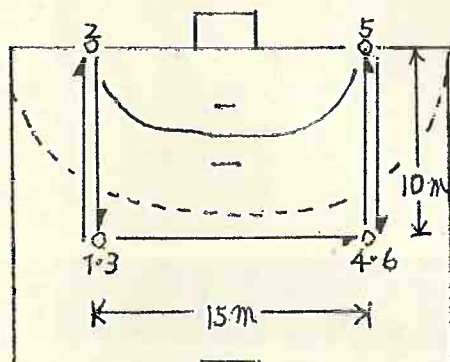
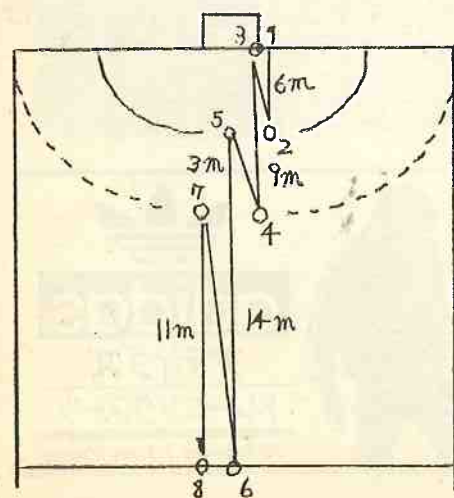
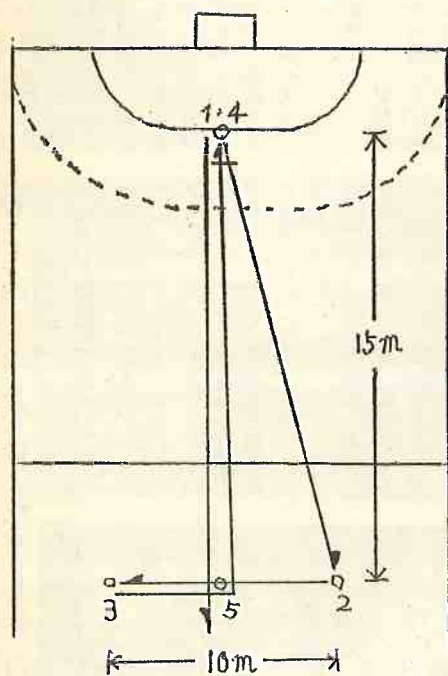
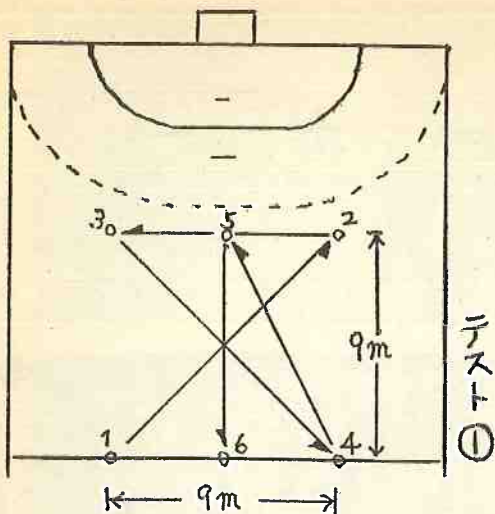
テスト⑤ 1の位置からスタートし2・3・4の順に走り6でゴールとなる（55m＝10＋10＋15＋10＋10m）20～29才・18秒、30～39才・19秒、40才以上・20秒。

テスト⑥ 7つのマークをぬってジグザグに、20mの距離を往復する。20～29才・15秒、30～39才・16秒、40才以上・17秒。

各テストにおいて基準として示した秒数より10分の1秒早かった場合はプラス1点を、逆に10分の1秒遅かった場合にはマイナス1点の得点が与えられる。

全員が真険に受験

このようにして10分の1秒まできびしく採点されるテストはペーパーテストとともに、すべてペアで受験するという形式で行なわれ

その結果は講習会最終日の夕食会の席上、1～20位まで発表されるというきびしさであった。
この結果が、次の世界選手権で笛をもつことができるかどうかにつながるわけで各レフェリーはそれこそ真険な受験ぶりであった。
この体力テストでも、諸兄におなじみのあのオールソン氏も、ズングリした体に汗して、真険にテストを受けていた。
これから、国際を目指して世界へ飛び出す諸兄には、ぜひ、前号で紹介したペーパーテスト―英語版―とともに一度アタックしていただきたい。

技術コーナー

――日本協会　競技委員会・技術委員会　北井晴次――

今回から新企画としまして、日本ハンドボール協会競技委員会では、これまでに数多くの方々から日本協会宛に寄せられた技術的な質問に対し、同委員会と致しましても、出来得る限りそれにお答えするに当り、実際の、ゲームでの場面に即した上でスタッフ一同が十二分に検討を重ね、さらに皆様方と一緒に考えて行こうという趣旨のもとに、このコーナーが新設されました。

またこのコーナーを通して皆様方と協会とのつながりにより、これからの日本のハンドボール競技のレベルアップのためにも尽力して行きたいと、スタッフ一同願っております。

今回は沢山お寄せ頂いた質問の中から、サイド攻撃についての問題を取りあげまして、コンビプレーによるものと、ワンマンによるものとの二つに分けて、実際の試合場面での例を基に、連続写真を参考にしながら、その極面についてのタイミングや間のとり方などを皆様と一緒に考えて行きましょう。

これからのハンドボール界は若い選手諸君がしっかりとした基礎体力のうえに、頭でっかちにならないバランスのとれた実戦的な基本技術をマスターすることが必要です。このコーナーをどんどん利用していただきたいと思います。

第一回　サイドシュートの巻

サイドから打てないが

質問「サイドのプレーヤーですけれど、サイドシュートがないからダメだといつもいわれます。どのようにしたらサイドシュートがうてるでしょうか。実戦的な例を教えて下さい。」（東京・高男）

答・サイドからの攻撃は、実際、困難な面があります。即ち、サイドでは、ディフェンスとオフェンスが一対一になりやすいのですが、ディフェンスを抜き去ってシュートするのに十分な左右の幅や、前後の距離がないなどが考えられます。従って、オフェンスがよほど卓越したフェイントの技術でも持ち合わせない限り、容易でないといえるでしょう。ここでは、実際の試合からの連続写真により、二つのパターンで考えてみることにします。

㈠、まず、いかにして、サイドのディフェンスを中央寄りにひきつけて、サイドのオフェンスをノーマークの状態にするかということです。写真Aを見て下さい。大同特殊鋼のポストを利用してサイドで2対1を作るサイド攻撃です。

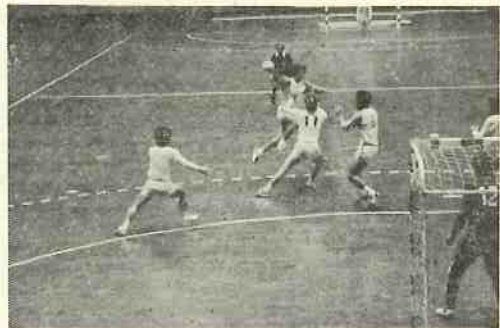
サイドで作る2対1

①パスを受けた花輪選手が、②45度よりシュートをねらって45度ディフェンス11をつり出します。③つり出されたディフェンス11の後方へポストの松原選手№6が中央より移動して、④パスを受けます。この瞬間、サイドのディフェンスをはさんで2対1ができました。⑤サイドのディフェンスが松原選手をおさえようとして近づいてきた時、⑥松原選手がサイドの野田選手へパスを送り、⑦⑧パスを受けた野田選手はノーマークとなり、⑨シュートを打ちました。

このプレイはよく試みられるパターンですが、こうも鮮かにサイドディフェンスがひきつけられている場合はそう多くありません。このプレイの成功の原因を考えてみますと。

(1)浮いた選手（花輪）のシュートするぞという威力が大きいので、どうしてもディフェンスがつり出されてしまうということ。

(2)そのシュートモーションに合わせて、中央にいたポストマンが横に移動している。つまり、ポストマンが移動しながらパスをうけているということです。

（36ページへつづく）

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
	⑤

連続写真A

大同特殊鋼、花輪・松原・野田選手が3対2から、サイドで2対1を作り、サイドをノーマークとするプレー。

(3)次に大切なのは、ポストマンからサイドオフェンスへのパスですもし、ポストマンへのパスが極端に低いものであったら、近ずいたサイドディフェンスにボールを押えられてしまったかも知れません高い位置にパスし、受けた松原選手はその位置から鋭いモーションで更に野田選手にパスしています。写真のような状況の時のパスはボールの出どころ（高低）相手との距離、タイミング、モーションなど、種々の条件で成否が決まる訳ですが、比較的つくり出しやすいサイド攻撃のパターンですので練習してためすことをおすすめします。

左サイドからの右ききのシュートは

(二)、次にサイドシュートを見てみましょう。ディフェンスが接近している状況を考えてみますと、先の野田選手のシュート（右利きが右サイドよりシュートする場合）は、利き手が外側へ出て、自然にボールがディフェンスより遠くなり、シュートを放つことは比較的容易となることは、君も実戦で経験していることでしょう。ここでは、右利きが左サイドからシュートする時です。つまり、シューターのボールを持った右手がどうしても自然の状態ではサイドのディフェンスに近ずいた状態になり、ボールカットの危険性が大きくなってしまう場合です。連続写真Bを見て下さい。大同、花輪選手の例です。

右肩からはいれ

①45度ディフェンスをはずした花輪選手がサイドへ走り込んできて、今ドリブルを終わったところです。②さらに1歩踏み出しながら、ボールはディフェンスから遠い位置、つまり左手側に保持しています。③さらにボールをカバーするようにディフェンス側へ背中を入れようとしています。④すでにディフェンスは後手にまわっています。ボールを右手でしっかり握り、⑤右肩からシュート態勢にはいろうとしています。この時にもボールはディフェンスからは遠い位置にあります。⑥この場合、右足でのジャンプですが、今まで走り込んできた力を、逆足のひきつけでタテの力(ジャンプする力)に変えようとしています。⑦完全に背中においたディフェンスをふりきって飛びこみました。⑧打点を高くするとともに、今度は、左側の腰をゴール側へ向けようとしています。シュートの生命は腰がはいるかどうかですから、⑦のままではシュートを打ちづらいのはご承知のとおりです。⑧⑨と腰を入れていることに注目して下さい⑨キーパーの動きを見ながら、シュートを打ちます。また、⑧⑨と左手で空中におけるバランスをとっていることにも着目して下さい大切なことをあげますと――

シュートに行く時、ボールをディフェンスより遠ざけた状態で運びます。従って利き手の肩が前へ出ています。このようにディフェンスを背中にするような予備体勢をつくるわけです。しかもボールをできる限り前方へ保持して、ボールをカットされるのをさけている訳です。写真では、右足でジャンプをしていますが、左足でも可能なはずです。大きくジャンプしゴールエリアの上空でディフェンスの圧力を完全にふりきったところで思いきったスイングをし、シュートする訳です。

大切な基礎体力

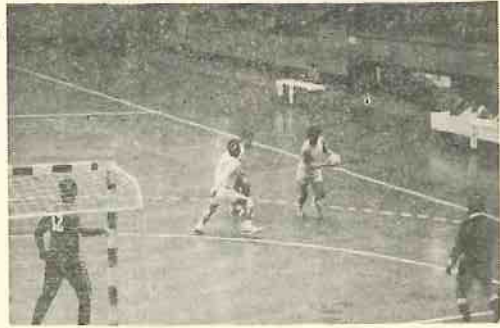
これには、より強い跳躍力、空中でバックスイングのための強い腹筋、背筋力を必要とします。現在、大学、日本リーグ等、トップレベルのゲームでのディフェンスとせり合った状態からのサイドシュートの典型です。研究して練習してみて下さい。

以上で今回のサイドシュートに関する問題についてお答えしましたが、このことが皆様方若い選手諸君の技術向上の一助になるとすれば、私共技術委員会としましても幸甚に思います。

このコーナーははじめに申し上げましたように、皆様方と協会技術専門委員会との唯一のつながりを持つコーナーです。特に、中学高校の諸君等での技術的な悩みや息づまりがありました場合には協会宛にどしどし質問を寄せて下さい。

若い選手諸君が明日へのハンドボール競技というものに向って、若いうちから本当の攻防実戦における基本技術を完全にマスターするということは、これからの日本ハンドボール界発展のためにも是非とも必要とされるものです。ですから、皆さんも基礎体力――この基礎体力を身につける練習は日常において繰り返し行なわれることですし、また一番重要なポイントであることは言うまでもありません――を充分に備えた上で実戦的基本技術をマスターされることを委員会スタッフ一同期待しております。

それでは次回にてまた皆様とこの誌上でお目にかかりましょう。

〒一五〇　渋谷区神南一丁目
一番一号　岸記念体育館内
日本ハンドボール協会「機関誌・技術コーナー」

連続写真B

サイドに走り込んできた大同特殊鋼花輪選手がボールカットをふせぐため、右肩からシュートにはいっています。

各地の記録

トヨタ車体が5連勝

▼第40回愛知実業団リーグ（10月名古屋市体育館）＝男子のみ

▽1部

大同高蔵 18―10 新日鉄名古屋
新日鉄名古屋23―5 トヨタ自工
トヨタ車体16―9 トヨタ自工
トヨタ車体21―12 豊田合成
大同高蔵 29―9 日本碍子
豊田合成 14―11 大同高蔵
トヨタ車体23―9 日本碍子
新日鉄名古屋21―11 豊田合成
日本碍子 12―10 トヨタ自工
トヨタ車体13―12 大同高蔵
豊田合成 16―12 日本碍子
新日鉄名古屋14―8 トヨタ自工
豊田合成 15―7 トヨタ自工
大同高蔵 19―4 トヨタ自工
トヨタ車体15―9 新日鉄名古屋

【順位】①トヨタ車体5戦全勝＝5連勝6度目②大同高蔵3勝2敗（得失的差39）③新日鉄名古屋3勝2敗⑩④豊田合成3勝2敗②⑤日本碍子1勝4敗⑥トヨタ自工5敗

▽2部5・6位決定戦

パイロット14―7 三菱電機

▽同3・4位決定戦

トヨタカローラ愛知13―9 豊田工機

▽同1・2位決定戦

プラザー工業13―7 豊田織機

▽1・2部入れ替え戦

トヨタ自工（1部）13―4 プラザー工業（2部）

さすが国際都市京都
米人をハンドボールに誘う

□……「ニッポンに来てこんな楽しい思い出がつくれるなンて…」と青い目を輝やかすのは、京都社会人リーグ・塔南クの外人選手アルバート・カウンセルさん（三一）

とところ書けば、カウンセルさんは、ハンドボールの盛んなヨーロッパ、ひょっとすると、かつてはかなり名のある選手ではと思う読者も多いだろうが、なんと、日本に来て初めてハンドボールを知ったというアメリカ人だ。

□……戦前は、神戸や横浜に住む主にドイツ人が、日本チームに加ってプレーした例があるが、戦後ではほとんど〝外人選手〟の登場を耳にしていない。

カウンセルさんの場合は、たまたま大阪の鉄工メーカーへ仕事の関係で来日し、その職場に塔南クの中心選手・中井治氏（全日本・中井武三選手の実兄）が居たことから誘われたもの。

□……アメリカでハンドボールといえば、てのひらでゴムボールを打ちつけるウォール（壁）ハンドボールを指し、我々の親しむハンドボールは、歴史のある割に、普及がもう一つ。

ハーバート大学時代、バスケットボールや陸上競技に精出したカウンセルさんも、このような球技があるのを日本に来て初めて知った、という。

□……来年春、ニューヨークへ戻り、水道関係の技術をつとめるカウンセルさんは「帰ったら、ぜひみんなにハンドボールを教えるのだ」と大張り切り。

片言の英語と日本語のやりとりだが、スポーツ好きらしいのみこみの早さで、もう一人前のフィールドプレイヤー。初試合で2ゴールをあげたほどだ。

それにしても、外国人に日本のチームがハンドボールを伝授するなど痛快な話ではありませんか――

（K）

男子は大阪市立初優勝

▼大阪府高校秋季選手権（9月・長野高ほか）

▽男子準々決勝

初　芝 19―10 八　尾
大　商 19―4 門　真
大阪市立 29―4 東住吉
境　工 20―7 登美丘

▽同準決勝

初　芝 18―14 大　商
大阪市立 16―9 堺　工

▽同決勝

大阪市立 19（9―5、10―5）10 初　芝

▽女子準々決勝

春日丘 9―6 東大阪
住吉学園 21―7 桜　塚
豊　中 5（分）5 大　谷
PTCで豊中の勝ち
城　南 11―2 梅　花

▽同準決勝

住吉学園 12―5 春日丘
城　南 9―6 豊　中

▽同決勝

住吉学園 7（3―2、4―3）5 城　南

今月号の編集担当者

小松原保彦（編集委員長）
家村　一敏（本部編集委員）
山本　浩二（　〃　）

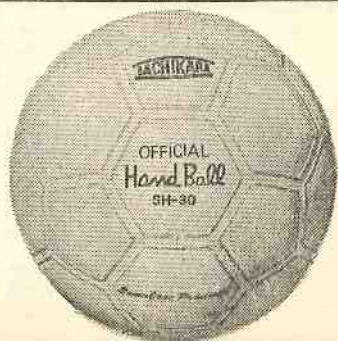
神戸製鋼が2連勝

第7回近畿実業団選手権は11月に入って決勝トーナメントが行われ、神戸製鋼（兵庫）×丸善石油下津（和歌山）という昨年と同じ顔合せによる決勝戦は、神戸が終盤に貴重な勝ちこし点をあげ、18―16で2年連続優勝を決めた。

▽準決勝

神戸製鋼 16―7 日鉄建材
丸善石油下津13―11 大阪ガス

▽決勝

神戸製鋼 18（9―9、9―7）16 丸善石油下津

夙川学院敗れる

◇兵庫県高校新人大会・11月12〜13日・明石商高グランド

▼男子・準々決勝

東播工 13—11 尼小田

西宮東 18—8 東灘

西宮北 16—11 明石

県神商 18—11 県伊丹

▼準決勝

西宮東 9—8 東播工

西宮北 18—8 県神商

▽3位決定戦

県神商 15（7—3、8—10）13 東播工

▼決勝

西宮北 15（10—4、5—6）10 西宮東

▼女子・準々決勝

鈴蘭台 11—4 柏原

明石 7—6 北条

甲子園 9（4—2、2—4：2—0、1—0）6 県神商

夙川 13—3 明石南

▼準決勝

鈴蘭台 6（2—3、2—1：1—0、1—0）4 明石

甲子園 6—5 夙川

▽3位決定戦

夙川 8（6—3、2—3）6 明石

▼決勝

鈴蘭台 6（3—1、3—0）1 甲子園

花巻北が男女初制覇

◇岩手県高校新人大会・11月12〜14日・花巻北・南高校体育館

▽男子準決勝

花巻北 12—9 水沢

盛岡一 8—6 福岡

▽決勝

花巻北 14（9—3、5—3）6 盛岡一

▽女子準決勝

花巻北 4（1—1、1—1：0—0、0—0：0—0、2—0）2 花巻南

花巻農 5（1—1、1—1：0—0、1—1：2—0、0—0）3 釜石商

▽決勝

花巻北 9（7—3、2—2）5 花巻農

高知クラブが強味

◇高知県秋季大会 52年11月12・13日

▼高校男子準々決勝

追手前 11—9 幡多農B

土佐 12—4 須崎A

中村 16—9 高知西

幡多農A 26—8 須崎B

▽準決勝

追手前 11—4 土佐

幡多農A 11—8 中村

▽決勝

幡多農A 16（10—3、6—5）8 追手前

▼高校女子一回戦（一試合）

高知東 4—1 佐川

▽準決勝

大正 7—4 高知東

中村 7—3 須崎

▽3位決定戦

須崎 6—5 高知東

▽決勝

大正 7（5—3、2—2）5 中村

▼一般女子決勝

高知ク 9（5—2、4—2）4 中村ク

▼女子総合決勝

高知ク 8（5—2、3—4）6 大正高

小松市女が着々と

◇石川県高校新人大会・11月14〜16日・石川県体育館・小松市体育館

▽男子準々決勝

小松工業 19—8 松稜工業

金沢泉丘 15—3 県立工業

小松高校 15—3 寺井高校

大聖寺高 35—5 津幡高校

▽準決勝

小松工業 15—5 金沢泉丘

大聖寺高 12—7 小松高校

▽決勝

大聖寺高 8（3—5、5—2）7 小松工業

▽女子一回戦（一試合）

松任高校 8—5 星稜

津幡高校 6—3 大聖寺高

小松商業 8—2 金沢商業

小松市女 11—1 北陸大谷

▽準決勝

津幡高校 4—1 松任高校

小松市女 13—2 小松商業

▽決勝

小松市女 14（8—1、6—1）2 津幡高校

坂城高と小諸商が

◇第10回長野県高校新人選手権大会・11月2・3日・臼田高校

▽男子準々決勝

坂城高校 16—10 小諸商業

小諸高校 21—10 臼田高校

北佐久農 14—8 美須々丘

上田高校 21—10 野沢南

▽準決勝

坂城高校 19—13 小諸高校

上田高校 12—9 北佐々農

▽決勝

坂城高校 9（5—3、4—5）8 上田高校

▽女子準決勝

小諸商高 19—3 佐久高校

美須々丘 20—2 北佐久農

▽3位決定

佐久 11（5—2、6—4）6 北佐久農

▽決勝

小諸商高 12（6—1、6—1）2 美須々丘

氷見が強味見せる

◇富山県高校新人大会・11月6〜20日・氷見・有磯高校・富山市体育館

▽男子準々決勝

高商 24—13 富東

高日大 9—7 高岡

小杉 10—9 八尾

氷見 23—11 富中

▽準決勝

高商 15—11 高日大

氷見 27—6 小杉

▽決勝

氷見 15（7—5、8—6）11 高商

▽女子準々決勝

有磯 30—5 清光女

富東 10—8 富北

高商 8—7 高女

小杉 17—3 高日大

▽女子準決勝

有磯 22—1 富東

小杉 17—3 高日大

▽決勝

小杉 8（5—6、3—1）7 有磯

◇同一般男子準々決勝

富山教員 18—12 八尾クラブ

想球会 10—6 高商クラブ

富山大学 16—9 H・H・C

▽準決勝

富山教員 30（17—2、13—8）10 想球会

氷見ク 19（9—3、10—8）11 富山大

▽決勝

氷見ク 27（10—10、17—9）19 富山教員

女子で日川敗れる

▼山梨県高校新人大会（10月29日～11月5日）県営球技場

▽男子準々決勝
日川 16―1 塩山
日大明誠 20―4 韮崎工
長坂 6―5 吉田
機山工 9―8 甲府高

▽準決勝
日川 18―7 長坂
日大明誠 21―5 機山工

▽三位決定戦
長坂 16―15 機山工

▽決勝
日川 23（9―2 14―4）6 日大明誠

▽女子準々決勝
日川 17―1 長坂
甲府西 10―2 吉田
塩山 10―2 吉田商
山梨 21―4 甲府商

▽準決勝
日川 16―0 甲府西
山梨 17―0 塩山

▽三位決定戦
塩山 4―2 甲府西

▽決勝
山梨 7（4―2 3―3）5 日川

大石田強味みせる

▼山形県高校新人大会・11月5・6日（竹田女高G）

▽男子一回戦（1試合）
寒河江 24―7 新庄工

▽準決勝
真室川 9―8 東根工
大石田 13―10 寒河江

▽決勝
大石田 18（10―2 8―1）3 真室川

▽女子一回戦（準決勝）
寒河江 5―4 米沢女
竹田女 5―4 尾花沢

▽決勝
竹田女 9（3―4 5―4 1―0 0―0）8 寒河江

本田、教員に苦しむ

▼第28回三重県総合選手権大会
▼第12回日沖杯争奪大会
10月16・23日（津・津女高G）

▽男子

▽準々決勝
三重教員 19―13 鵜ノ森ク
尾鷲クラブ 18―14 四日市工B
本田技研 39―16 O三重教員
四日市工A 16―11 三重大B

▽準決勝
三重教員 24―13 尾鷲クラブ
本田技研 36―9 四日市工A

▽決勝
本田技研 16（8―7 8―3）10 三重教員

▽女子

▽準々決勝
田村紡OG 9―7 四日市高
ジャスコ 29―2 津女高OG
高校選抜 27―6 泗商A
津女高 18―5 上野商

▽準決勝
ジャスコ 21―1 田村紡OG
高校選抜 14―4 津女高

▽決勝
ジャスコ 19（5―4 14―1）5 高校選抜

岐阜教員が速攻で

▼第23回岐阜県秋季選手権大会
10月30日・11月3日
大垣農高グランド

▽男子準々決勝
岐阜教員 34―11 益田高
県岐阜商高 32―7 多治見北高
伊吹クラブ 23―17 三洋電機
大垣南高 20―18 市岐商高ク

▽準決勝
岐阜教員 24―13 県岐阜商高
大垣南高 20―12 伊吹クラブ

▽決勝
岐阜教員 26（13―11 13―10）21 大垣南高

▽女子準々決勝
県岐阜商高 19―3 羽島高
加納高 7―3 不破高
益田高 9―7 大垣農業高
三洋電機 9―4 本巣高

▽準決勝
県岐阜商高 11―2 加納高
三洋電機 17―13 益田高

▽決勝
県岐阜商高 17（7―6 10―2）8 三洋電機

女子は四日市高OG

○……全日本総合・社会人中地区代表（男子）を決する第8回東海クラブ選手権が10月30日と11月13日の両日、四日市体育館で開催され男子は昨年同様セブンスターズ（前・本田爽風会）、女子は四日市高OGが初優勝した。（一頁既報）

▽男子準々決勝
7スターズ 27―18 岐南OB会
中京クラブ 27―20 清商クラブ
蒲郡クラブ 22―8 津クラブ
鵜の森ク 19―13 静農クラブ

▽同準決勝
セブンスターズ 22（12―7 10―7）14 中京ク
蒲郡ク 21（12―4 9―8）12 鵜の森ク

▽同決勝
セブンスターズ 17（10―2 7―4）6 蒲郡ク

▽同女子準々決勝（一回戦）
城北クラブ 10―5 県岐商OG
四日市OG 12―0 紅葉会
津クラブ 13―10 清水西高ク
笠松クラブ 21―13 泗商クラブ

▽同準決勝
四日市OG 12―0 城北クラブ
笠松クラブ 12―10 津クラブ

▽同決勝
四日市高OG 10（5―1 5―4）5 笠松ク

▼第一回町田杯群馬リーグ・11月
Aブロック①群馬教員②前橋工ク③前橋ク、Bブロック①富岡ク②藤岡高OB③相馬原自衛隊
富岡ク 22（13―7 9―13）20 群馬教員

★編集後記★

□…めっきり冬の色も濃くなってまいりましたこの頃ですが、愛読者の皆さんいかがお過しでしょうか。

今号より初めて本格的に原稿段階から編集を担当しましたが、新婚ボケ？の私にとりまして進行具合がどうもはかばかしくなく、山本氏をはじめ他の編集委員の多大なる激励と援助を受けて取組んでみましたものの、発刊が遅れてしまう結果となりましたこと愛読者の方々に深くお詫びする次第でございます。

明年二月発刊の160号は、日本協会四十周年記念特集号としてより充実した内容のものを企画しております。そしてこの機関誌も協会と共に歩み続けて来ております。以前にも紙上にて皆様方にお願いしたことですが、日本協会にとっての機関誌では決っしてなく、愛読される皆様方の機関誌として、これから先も、皆様方からの機関誌に対する掲載内容についての、御意見、御希望、御質問をどしどしお聞かせ頂ければ幸いかと存じます。

来年もどうか宣しくお願い致します。　＜小松原＞

音のコンビネーションプレー

2ウェイ・4スピーカー（12cmウーハー×2＋5cmツイーター×2）からあふれ出す、出力3.8W（EIAJ/DC）のステレオサウンドは、高音と中・低音のコンビネーションサウンド。

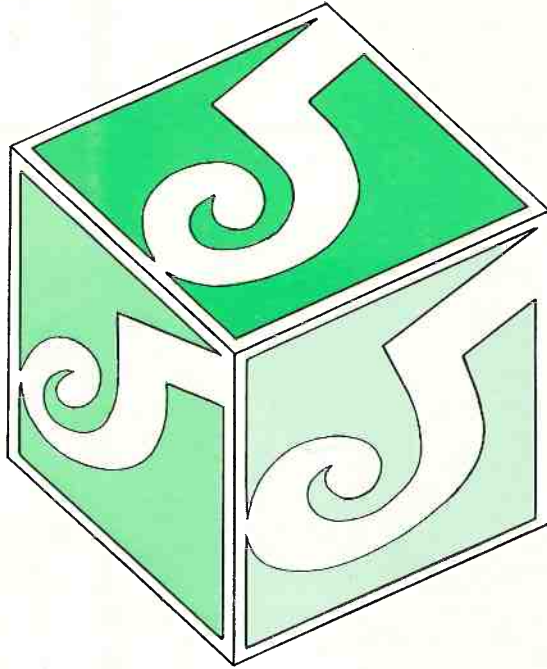
音が広がるステレオサウンド
ステレオ パディスコ5280 ¥44,800
TRK-5280

いい音はステレオで鳴らしたい

ステレオサウンドを支えるメカニズム
- より音の広がりを感じるステレオ（マトリックス）方式
- クリアな音を再生するITL・OTL回路
- FM放送が冴えるFMマルチ回路内蔵
- ラウドネス回路で音のバランスを自動補正
- FMワイドバンド（76～108MHz）帯採用
- （クロム/ノーマル）テープセレクター採用
- 専用外部スピーカー（別売りAPS-80 2本セット¥11,800）接続可能
- FM/AM2バンドラジオつき
- 大きさ幅42.2×高さ23.3×奥行11.7（cm）
- 重さ4.7kg（乾電池含む）
- キャリングケース（別売りL-5280 ¥4,000）

品質を大切にする〈技術の日立〉
HITACHI CASSETTE RECORDER

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL.(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館) TEL.(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は、必ずお受けとりください。お買い上げの際に販売店名、ご購入の年月日が記入されているかをお確かめになり、大切に保存してください。
★カタログ請求は、〒105東京都港区西新橋2-35-6 第3松井ビル 日立家電販売株式会社宣伝部パディスコ係へ。
★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

日本ハンドボール協会編『ハンドボール』 第一五九号
昭和四十年六月七日第三種郵便物認可 昭和五二年十一月二十五日印刷 昭和五二年十二月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南一ー一ー一
代表（467）七〇九七
東京五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五十円（年間購読料三千三百円）